

平成5年度

川崎市衛生研究所年報

(第29号)

川崎市衛生研究所
(1993)

は じ め に

平成5年度川崎市衛生研究所年報をお届けします。年報というからには、その年の行事や業績をしっかりと記録にとどめ、後からふり返ってその歩みを確かめられるようにしなければなりません。

所が、この序文を書くに当たって、平成6年4月に所外から着任した新米所長にとっては、この年報の中味が全く知らない所で行われた知らないことばかりでありますから、解説も注釈もつけようがありません。

恐らく他の研究所の場合もそうでしょうが、序文の内容は業績その他本文よりも1年後のこと、1年先のことを述べていることになりましょう。

平成6年7月に地域保健法が制定になりました。11月に発表されたその基本指針の中に初めて「地方衛生研究所」という名前が登場してきました。今まで長い努力を続けてきたのに何も認められていなかったのは不思議なくらいですが、やっと認知されたのです。衛生研究所にとって元気の出るきっかけになるはずです。

衛生研究所の活躍が目立つ時は市民にとって不幸な出来事が多い時ですから、目立つようではいけません。市民の生活を衛生面からしっかり支える活動を地道に続けていきたいと考えます。

衛生という言葉の意味をかみしめて、衛生の火を守り続けていきたいというのが所員一同の心意気です。

平成6年12月

川崎市衛生研究所所長

大 村 敏 郎

目 次

I 概 要	1
1. 沿 革	1
2. 機 構	3
(1) 組 織	3
(2) 事 務 分 掌	3
3. 人 員 配 置	4
4. 予 算 及 び 決 算	4
(1) 歳 入	4
(2) 歳 出	5
5. 行 事	6
(1) 学 会	6
(2) 講 習 会 及 び 研 修 会	6
(3) 職 場 研 修	9
(4) 会 議	9
(5) 講 師 派 遣	10
II 業 務	11
1. 微 生 物 検 査 担 当	11
2. 理 化 学 検 査 担 当	31
III 試 験 検 査	52
1. 月 別 検 査 件 数	52
2. 依 頼 別 検 査 件 数	58
3. 項 目 別 検 査 件 数	59
食 品 別 検 査 項 目 内 訳	70
水 質 別 検 査 項 目 内 訳	74
IV 調 査 研 究	76
1. 調 査 研 究 報 告	76
2. 学 会 発 表	122
3. 論 文 発 表	125
V 職 員 名 簿	126
VI 人 事 記 録	127

I 概 要

1. 沿 革

年 月	事 項
昭和 27. 1	川崎市条例第 2 号（昭和27年 1 月 9 日）により公衆衛生の向上及び増進に寄与するため川崎市立衛生試験所設置される。
27. 2	庁舎は、川崎市砂子 1 丁目 7 番地 川崎市中央保健所 2 階の一部を使用する。 川崎市事務分掌条例（昭和22年川崎市条例第16号）に基づく事務分掌規則により次の係が設置される。 庶 務 係 試 験 係
36. 7	本市に 4 ヶ所の原子炉関係施設が設置され、市民からの強い要望にこたえて、川崎市新川通り 70 番地 川崎市立川崎病院構内に放射能測定室を設置し、業務を開始する。
36. 10	川崎市事務分掌規則の改正により次の係が設置される。 試験係が廃止され、新たに、試験第 1 係、試験第 2 係となる。
37. 9	川崎市中央保健所庁舎改築と同時に同庁舎 4 階に移転する。
40. 4	試験第 1 係、試験第 2 係が廃止され 微生物係・臨床検査係・理化学環境検査係
42. 7	川崎市事務分掌規則の改正により次の係が設置される。 理化学環境検査係が廃止され、 食品化学係・環境検査係
44. 4	川崎市立川崎病院内構内に設置の放射能測定室を閉鎖し、環境検査係内に移す。
44. 9	川崎市大島 5 丁目 5 番地 2（元川崎市交通局トロリーバス車庫跡地）に庁舎新築起工。
45. 5	新庁舎竣工。
45. 6	川崎市条例第 2 号が改正され、川崎市衛生研究所条例（昭和45年 3 月31日条例第14号）が新たに施行される。（名称変更と設置場所の変更）
45. 6	川崎市事務分掌規則の改正により課制を施行、2 課 7 係が設置される。 微 生 物 課 庶 務 係 細 菌 検 査 係 臨 床 検 査 係 ウィルス検査係

年 月	事 項
	理 化 学 課 食品検査係 水質検査係 環境検査係
昭和 45. 6	川崎市衛生研究所新庁舎の開庁式挙行。
46. 4	川崎市衛生研究所条例第 6 条に基づく手数料一部追加により改正，施行される。 (昭和46年 3 月23日条例第 6 号)
46. 8	川崎市衛生研究所放射線障害予防規程（昭和46年 7 月29日訓令第14号）が施行される。
46.10	川崎市事務分掌規則の改正（昭和46年10月15日規則第71号）により，1 室，2 課 6 係となる。 同時に川崎市役所機構改革により公害局公害研究所が新設され，庁舎共同使用となる。
47. 4	川崎市が指定都市に指定される。（地方自治法第252条の19第 1 項）
48.12	公害研究所庁舎新設に伴い移転。
50. 4	川崎市衛生研究所条例を一部改正施行される。（昭和50年 4 月 1 日条例第 6 号）
50. 4	川崎市衛生研究所条例施行規則を全面改正施行される。（昭和50年 4 月 1 日規則第21号）
50. 7	4 階に実験室を増築。
61.10	川崎市事務分掌規則等の一部改正により，課・係制を廃止し，主幹・主査制を導入する。
平成 元 . 3	1 階に安全実験室を設置。
3. 3	電子顕微鏡を設置。
4. 3	3 階に有機溶媒排気装置を設備。
4. 4	川崎市事務分掌規則等の一部改正により，事務分掌の内容の変更。
4. 5	主査（衛生動物検査担当）および主査（残留農薬検査担当）を増設。
6. 4	川崎市衛生研究所条例を一部改正施行される。（平成 6 年 3 月30日条例第13号）
6. 7	川崎市衛生研究所条例を一部改正施行される。（平成 6 年 3 月30日条例第 6 号） 手数料（第 7 条関係別表）を大幅に改訂する。

施設及び建物

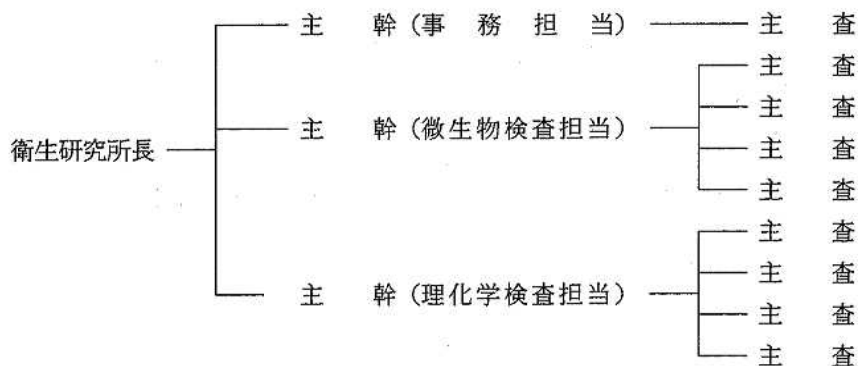
- (1) 敷 地 1,652.89㎡ (500坪)
 (2) 建 物 鉄筋コンクリート造 4階建 延面積 2,242.60㎡

階 別 内 訳

階 別	床 面 積	屋 外 階 段	計
1 階	642.50 ㎡	4.95 ㎡	647.45 ㎡
2 階	630.00	23.00	653.00
3 階	630.00	21.85	651.85
4 階	290.30	—	290.30
計	2,192.80	49.80	2,242.60

2. 機 構

(1) 組 織



(2) 事務分掌

川崎市事業所事務分掌規則（昭和51年4月30日規則第39号）第3条 事業所の事務分掌は、次のとおりとする。

衛生研究所

1. 所の庶務に関すること。
2. 所の維持管理に関すること。
3. 試験検査の企画、調査及び統計に関すること。
4. 公衆衛生従事者の技術研修の企画実施に関すること。
5. 検査容器の消毒及び洗浄に関すること。
6. 微生物学的試験検査及び調査研究に関すること。
7. 衛生動物の試験検査及び調査研究に関すること。
8. 理化学的試験検査及び調査研究に関すること。
9. その他公衆衛生上必要な試験検査及び調査研究に関すること。

3. 人 員 配 置

(平成6年4月1日現在)

職 種 別 担当部門別		総 数	一 般 事 務 職	医 師	獣 医 師	薬 劑 師	栄 養 士	臨 床 検 査 技 師	化 学 職	自 動 車 運 転 手	用 務 員
総 数		40	6	1	3	9	1	10	8	1	1
所 長		1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
事担 務当	主 幹	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	事 務 係	7	5	—	—	—	—	—	—	1	1
微生物検査担当	主 幹	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	細菌検査部門	6	—	—	—	2	—	4	—	—	—
	臨床検査部門	3	—	—	—	—	—	3	—	—	—
	ウイルス検査部門	3	—	—	1	—	—	2	—	—	—
	衛生動物検査部門	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—
理化学検査担当	主 幹	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	食品検査部門	5	—	—	—	5	—	—	—	—	—
	水質検査部門	5	—	—	—	2	—	—	3	—	—
	環境検査部門	4	—	—	—	—	—	1	3	—	—
	残留農薬検査部門	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—

4. 予算及び決算（平成5年度）

(1) 歳 入

(単位：円)

款 項 目	節	予 算 額	決 算 額
使用料及び手数料			
手 数 料			
衛生手数料	衛生検査手数料	68,363,000	55,583,020
	証明閲覧手数料	10,000	18,200

(2) 歳 出

(単位：円)

款 項 目	節	予 算 額	決 算 額
衛 生 費			
保健衛生施設費			
衛生研究所費		112,104,000	93,771,328
	報 酬	384,000	384,000
	報 償 費	66,000	66,000
	需 用 費	65,039,000	50,692,096
	消 耗 品 費	45,651,000	33,985,777
	(調査研究費)	(2,950,000)	(2,539,786)
	燃 料 費	87,000	77,619
	食 料 費	20,000	13,000
	印 刷 製 本 費	1,372,000	1,140,369
	光 熱 水 費	16,289,000	14,115,440
	修 繕 費	1,620,000	1,359,891
	役 務 費	2,771,000	1,964,181
	郵 便 料	100,000	100,000
	電 話 料	583,000	484,041
	手 数 料	2,088,000	1,380,140
	委 託 料	7,641,000	6,384,500
	使用料及び賃貸料	22,959,000	22,150,739
	備 品 購 入 費	12,795,000	11,769,412
	(調査研究費)	(50,000)	(49,370)
	負担金補助及び交付金	449,000	360,400

5. 行 事

(1) 学 会

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5. 4. 2	日本獣医学会	日本都市センター	清水
"	第45回日本衛生動物学会大会	愛知医科大学	佐藤,
4. 15 ~ 16	第67回日本感染症学会総会	日本都市センター	春山
5. 13 ~ 14	第65回講演会食品衛生学会	中央区立中央会館	森, 田中, 藤井, 柳堀, 山田
6. 29	平成5年度川崎市公衆衛生研究発表会	いさご会館	原田他
7. 1 ~ 2	第8回関東甲信静支部ウイルス研究会	鬼怒川温泉, 清流荘	春山
7. 8 ~ 9	衛生微生物技術協議会 (第14回研究会)	神奈川県民ホール	小川(正), 岡田
9. 16	第20回カビ毒研究連絡会	国民生活センター	森
10. 22	第52回日本公衆衛生学会総会	北九州市スミックスホ ール・エスタ	佐藤
11. 11 ~ 12	第14回日本食品微生物学会	静岡市民文化会館	小川(正)
11. 30	第39回神奈川県公衆衛生学会	県歯科保健総合 センター	佐久間, 大久保, 松本, 小川(正), 春山, 佐藤, 岡田, 飯塚, 柳堀, 清水, 太田, 斉藤
6. 2. 21	地衛研全国協議会関東甲信静支部 理化学研究部会	甲府市, シティプラザ 紫玉苑	鈴木(明), 田中, 入口
2. 24 ~ 25	第6回関東甲信静地研細菌研究部会	埼玉県民活動総合 センター	小川(正), 岡田

(2) 講習会及び研修会

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5. 4. 8	学校栄養職員衛生管理研究会	中原市民館	小川(正)
4. 16	臨床検査技師研修会	がん検診センター	鍋木
4. 27 ~ 28	第1回食品残留農薬分析法講習会	国立公衆衛生院	鈴木(明), 竹沢
5. 13	水質試験専用イオンクロマトグラフ 講習会	日本ダイオネス(株)	林
5. 21	臨床検査技師研修会	高津保健所	飯塚, 鍋木
5. 25 ~ 6. 8	第1回新規採用職員研修	職員研修所	植田

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5. 6. 1 ～ 30	実務研修	国立衛生試験所	柳堀
6. 18	第 1 回衛生検査技術専門研修会	県衛生研究所	須藤, 太田
7. 7	主任研修	職員研修所	須藤
7. 12 ～ 13	HP1090Mオペレーション基礎/WSユーザトレーニング	カスタマリポート センター	藤井
7. 13	係長研修	幸市民館	小川(正)
7. 14	水質基準分析実技研修会	(株)パーキンエルマージ ジャパン本社テクニカル センター	千田
7. 16	臨床検査技師研修会	クノール食品(株)	飯塚, 鍋木
7. 22	H I V - 2 型技術研修会	国立予防衛生研究所	鈴木(壮)
7. 22 ～ 23	係長研修	職員研修所	小川(正)
7. 30	第 2 回衛生検査技術専門研修会	県衛生研究所	春山
8. 20	臨床検査技術師研修会	市衛生研究所	飯塚, 鍋木
9. 3	分析機器セミナー	幕張メッセ	斉藤
9. 17	臨床検査技師研修会	リハビリテーション医 療センター	鍋木
9. 17 ～ 24	吏員研修	幸区役所	望月
10. 25 11. 5	環境放射能分析研修	(株)日本分析センター	竹沢
10. 27	L C セミナー	日本薬学会長井記念館	藤井
10. 29	健康リビング対策研修会	中原区役所	佐藤
11. 1	研修会	大和市	鈴木(明)
11. 4	平成 5 年度全国食品衛生監視員研修会	中央区立中央会館	佐久間
11. 16 ～ 17	ガスクロユーザトレーニング	横河カスタマサポート センター	天野
11. 18 ～ 19	第31回油化学入門講座	工学院大学	森
11. 19	臨床検査技師研修会	幸保健所	飯塚
11. 19	資源環境技術総合研究所第 5 回講演会	石垣記念ホール	酒井, 斉藤
11. 24 ～ 26	G C - M S トレーニング	横河アナリティカルシ ステムズ(株)カスタマサ ポートセンター	斉藤
11. 29	水環境セミナー	北トピア	林

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5.12. 1	第2回食品残留農薬分析法講習会	国立公衆衛生院	鈴木(明), 竹沢
"	水環境技術研究会	サンライフ横浜	入口
12. 3	エイズエイドアクション	横浜新都市ビル	鈴木(壮)
12. 9	かながわ国際人権集会	神奈川県民ホール	中村
12.10	放射線安全管理講習会	日本教育会館	森, 竹沢
12.14 ~ 17	吏員研修	幸市民館	柳堀
6. 1.10 ~ 2.10	特別課程, 細菌コース	国立公衆衛生院	太田
1.13	神奈川県監視員研修会	県保健教育センター	柳堀
1.18	"	"	田中
1.19	"	"	藤井
1.19 ~ 20	ガスクロワークステーション講習	横河アナリティカルシステムズ(株)カスタマサポートセンター	天野
1.21	臨床検査技師研修会	宮前保健所	鎗木
1.25	食品衛生監視員研修会	いさご会館	須藤
1.28	第5回衛生検査専門技術研修会	県衛生研究所	須藤, 植田
2. 9	水環境セミナー	自動車会館	千田
2.10	"	"	斉藤
2.23 ~ 25	GC-MSトレーニング	横河アナリティカルシステムズ(株)カスタマサポートセンター	鈴木(明)
2.24 ~ 25	希少感染症診断技術研修会	国立予防衛生研究所	鎗木, 飯塚
3. 1 ~ 3	GC-MSトレーニング	横河アナリティカルシステムズ(株)カスタマサポートセンター	柳堀
3. 8	講習衛生関係職員研修会	三菱樹脂(株)平塚工場	酒井
3.18	結核とエイズについて講演会	中原区役所	植田, 飯塚
3.18	5年度県精度管理調査研修会	大和市民病院	須藤, 鎗木
"	エイズセミナー	いさご会館	鈴木(壮)

(3) 職場研修

年 月 日	名 称	講 師 名	場 所
5.10.25	水質基準について	内 藤 昭 治	市役所第3庁舎
6. 2. 3	日常生活で使用されている家庭用防臭・防かび及び防菌製品等の使用上の問題点とその対応について	鹿 庭 正 昭	市衛生研究所
2.18	O139コレラ菌と同様に行政的対応を必要とするVibrio cholerae 0139の流行状況について	島 田 俊 雄	労働会館

(4) 会 議

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5. 5.19	市結核・感染症サーベイランス委員会 平成5年度第1回情報解析小委員会	市川崎休日急患診療所	原田, 春山, 小川(正)
5.21	第3回予研シンポジウム	国立予防衛生研究所	清水
5.27	精度管理計画検討委員会	県衛生部	酒井
5.31	神奈川県公衆衛生協会第1回理事会	神奈川県歯科保健総合センター	原田
6. 2	衛生研究所運営委員会	衛生研究所	新井, 原田他
6. 3 ~ 4	地研全国協議会衛生研究所長会議	厚生省、主婦会館	原田, 篠原
6.11	精度管理計画検討委員会	県庁	千田
7. 2	関東甲信越花粉会議	気象庁	佐藤
7. 8 ~ 9	衛生微生物技術協議会	神奈川県民ホール	小川(正), 岡田, 鈴木(壮) 飯塚, 鎗木, 清水
7.15	第47回地衛研全国協議会関東甲信静 支部総会	都衛生研修センター	原田, 篠原
7.20	市結核・感染症サーベイランス委員会 平成5年度第2回情報解析小委員会	市川崎休日急患診療所	原田, 春山, 小川(正)
7.29	精度管理会議	県庁	酒井
7.30	第1回神奈川県公衆衛生協会学術部会	スカーフ会館	原田
8.11	神奈川県急性伝染病(平成4年) 第1回編集会議	神奈川自治会館	小川(正)
8.20	エイズ学術会議	パシフィコ横浜	鈴木(壮)
"	はつらつ健康まちづくりプロジェクト	歯科保健センター	清水
8.23	"	中原区役所	山田
8.26 ~ 27	平成5年度指定都市衛生研究所長会議	京都市平安会館	原田
8.31	精度管理解析委員会	市衛生研究所	鈴木(壮), 飯塚, 鎗木

年 月 日	名 称	場 所	参 加 者
5. 9. 7	(仮称) 環境科学総合研究所整備構想 委員会 情報システム第1回作業部会	安田生命ビル	小川(正)
9. 22	(仮称) 環境科学総合研究所整備構想 委員会総合部会	川崎信用金庫	原田, 小川(正)
9. 28	市結核感染症サーベランス委員会 平成5年度第3回情報解析小委員会	市中原休日急患診療所	原田, 佐久間, 春山, 小川(正)
10. 12	精度管理調査試料説明会	県衛生研究所	鍋木
10. 14	精度管理解析委員会	市衛生研究所	鈴木(壮), 飯塚, 鍋木
10. 19 ~ 20	平成5年度第44回地衛研全国協議会 総会	福岡市 ももちパレス	原田
10. 26	市伝染病対策協議会	市中原休日急患診療所	原田, 佐久間, 春山, 小川(正)
11. 5	食監協総会	中央区中央会館	田中, 柳堀
11. 16	市結核, 感染症サーベランス委員会 平成5年度第4回情報解析小委員会	市中原休日急患診療所	原田, 春山
12. 10	関東甲信越花粉研究会	気象庁	佐藤
6. 1. 18	市結核・感染症サーベランス委員会	市中原休日急患診療所	原田, 春山, 小川(正)
1. 21	県・政令三市衛研・衛試所長会議	ベイスクエアよこすか	原田, 古尾谷
1. 31	(仮称) 環境科学総合研究所整備構想 委員会	いさご会館	小川(正)
2. 23	システム選定幹事会	第3庁舎9階	小川(正), 間山
"	情報システム第3回作業部会	安田生命ビル	小川(正)
3. 7	地研連絡協議会食品衛生部会	県衛生研究所	森, 小川(時), 竹沢 藤井, 柳堀
3. 11	地研連絡協議会微生物情報部会	川崎区役所	原田, 佐久間, 他
3. 25	地研連絡協議会環境衛生部会	横浜市衛生研究所	松本, 鈴木(明), 天野 酒井, 入口

(5) 講師派遣

年 月 日	名 称	講 師 名	依 頼 者
5. 4. 8	食品の微生物汚染について	小川(正)	川崎市教育委員会学校 給食課
5. 4. 18 ~ 9. 26	微生物 (18回)	大久保	市医師会附属准看護婦 学校
8. 20	「MRSA」について	小川(正)	臨床検査技師研修会
9. 30	エイズ検査法について	鈴木(壮)	川崎保健所(保健予防課)
10. 1	特別講義 「DNA」を中心とする新しい細菌同定 法ー特にPCR法について	小川(正)	神奈川県立衛生短期大学

Ⅱ 業 務

1. 微生物検査担当

(1) 細菌検査部門

ア. 腸内細菌

(ア) 業態者検便

業態者検便（給食従事者、食品取扱者、その他一般）からの赤痢菌及びサルモネラの検出状況は表 1 に示すとおりである。

検査件数 29,518件であり、サルモネラ（SS 寒天培地上で検出されたもの）は 2 件(0.007%) 検出され、2 血清型に型別された。赤痢菌は検出されなかった。

(イ) 医療機関依頼の下痢症患者からの病原菌検出状況

下痢症患者からの病原菌検出状況は表 2 に示すとおりである。検査件数 562件中病原菌陽性件数は 124件 (22.1%) であり、その内訳は赤痢菌 1 件(0.2%)、サルモネラ 27件(4.8%)、腸管病原性大腸菌(EPEC) 22件(3.9%)、毒素原性大腸菌(ETEC) 4 件(0.7%)、腸管出血性大腸菌 (EHEC) 2 件(0.4%)、エルシニア・エンテロコリチカ 4 件(0.7%)、腸炎ビブリオ 10件(1.8%)、コレラ菌 non-01 1 件(0.2%)、カンピロバクター・ジェジュニー 55件(9.8%)、プレシオモナス・シゲロイデス 2 件(0.4%) であり、カンピロバクター・ジェジュニーが検出病原菌の 44.4% を占めていた。組織侵入性大腸菌(EIEC)、コレラ菌 01, ビブリオ・フルビアリス、ビブリオ・ミックス、ビブリオ・ファニシー、カンピロバクター・コリー、エロモナス spp は検出されなかった。

同一患者から 2 菌種の病原菌による混合感染事例が 4 事例みられた。

(ウ) 検疫通報及び汚染地域来航者からの病原菌検出状況

検疫通報及び汚染地域来航者からの病原菌検出状況は表 3 に示すとおりである。検査件数 290 件中、病原菌陽性件数 102件 (35.2%) であり、そのうち赤痢菌 6 件(2.1%)、サルモネラ 24件(8.3%)、腸管病原性大腸菌(EPEC) 5 件(1.7%)、毒素原性大腸菌(ETEC) 23件(7.9%)、腸炎ビブリオ 1 件(0.3%)、コレラ菌 non-01 5 件(1.7%)、カンピロバクター・ジェジュニー 9 件

表 1. 業態者からの赤痢菌及び

サルモネラの検出状況

(平成 5 年 4 月～6 年 3 月)

年月	件数	病 原 菌	
		赤痢菌	サルモネラ
5. 4	2,457	—	1 (0.04)
5	2,530	—	—
6	3,182	—	—
7	2,578	—	—
8	1,991	—	—
9	2,419	—	1 (0.04)
10	2,468	—	—
11	2,583	—	—
12	2,431	—	—
6. 1	2,253	—	—
2	2,338	—	—
3	2,288	—	—
計	29,518	—	2 (0.007)

()内は%

表2 下痢症患者からの病原菌検出状況（平成5年4月～6年3月）

年 月	5 4	5	6	7	8	9	10	11	12	6 1	2	3	計
検査件数	29	55	82	69	63	58	28	38	42	38	27	33	562
陽性件数 (%)	8* (27.6)	14 (25.5)	18* (22.0)	15* (21.8)	11 (17.5)	16* (27.6)	9 (32.1)	9 (23.7)	10 (23.8)	5 (13.1)	5 (18.5)	4 (12.1)	124* (22.1)
赤痢菌					1 (1.6)								1 (0.2)
明細	2* (6.9)	5 (9.1)	2 (2.4)	4* (5.8)	3 (4.8)	6 (10.3)	4 (14.3)			1 (2.6)			27* (4.8)
EPEC	2* (6.9)	3 (5.5)	5* (6.1)	4* (5.8)	1 (1.5)		1 (3.6)	3 (7.9)	1 (2.4)		1 (3.7)	1 (3.0)	22* (3.9)
ETEC				1 (1.4)		2 (3.4)				1 (2.6)			4 (0.7)
EHEC				2 (2.9)									2 (0.4)
エンテロ・ エンテロコッカ			1 (1.2)					1 (2.6)	1 (2.4)	1 (2.6)			4 (0.7)
腸炎ビブリオ				1 (1.4)	2 (3.2)	5* (8.6)	1 (3.6)				1 (3.7)		10* (1.8)
コレラ菌 non-01					1 (1.6)								1 (0.2)
カンピロバクテ ル・ジェジュニ	5 (17.2)	6 (10.9)	11* (13.4)	4 (5.8)	3 (4.8)	3 (5.2)	3 (10.7)	5 (13.2)	8 (19.0)	2 (5.3)	2 (7.4)	3 (9.1)	55* (9.8)
エルシヘリス シロデス						1* (1.7)					1 (3.7)		2* (0.4)

備考：*印は、同一患者から2菌種の病原菌が検出された事例（4事例）

EIEC, コレラ菌01, ビブリオ・フルビアリス, ビブリオ・ミクス, ビブリオ・ファニシ
ー, カンピロバクター・コリー, エロモナスspp:陰性

(3.1%), プレシモナス・シゲロイデス29件(10.0%), エロモナスspp. 21件(7.2%)が検出された。

組織侵入性大腸菌(EIEC), 腸管出血性大腸菌(EHEC), エルシニア・エンテロコリチカ, コレラ菌01, ビブリオ・フルビアリス, ビブリオ・ミックス, ビブリオ・ファニシー, カンピロバクター・コリーは検出されなかった。

また, 同一患者から2～4菌種の病原菌による混合感染事例が17例みられた。

表3 検疫通報及び汚染地域来航者からの病原菌検出状況(平成5年4月～6年3月)

年 月	5 4	5	6	7	8	9	10	11	12	6 1	2	3	計
検出件数	22	18	15	19	47	31	22	23	21	17	17	38	290
陽性件数 (%)	8* (36.4)	5* (27.8)	4* (26.7)	7* (36.8)	17* (36.2)	10* (32.3)	7 (31.8)	5 (21.7)	9* (42.9)	6 (35.3)	7 (41.2)	17* (44.7)	102* (35.2)
赤痢菌	2 (9.1)		1 (6.7)		2 (4.3)							1* (2.6)	6* (2.1)
腸炎		2* (11.1)		4* (21.1)	3* (6.4)	6* (19.4)	2 (9.1)		1 (4.8)	1 (5.9)	2 (11.8)	3 (7.9)	24* (8.3)
EPEC											2 (11.8)	3* (7.9)	5* (1.7)
ETEC	1 (4.5)		1 (6.7)	1 (5.3)	5* (10.6)	1 (3.2)	2 (9.1)	1 (4.3)	1 (4.8)		2 (11.8)	8 (21.1)	23* (7.9)
腸炎ビブリオ				1* (5.3)									1* (0.3)
エルシニア non-01		1 (5.6)			3* (6.4)			1 (4.3)					5* (1.7)
カンピロバクター ジョージ	1* (4.5)	1* (5.6)		1 (5.3)		2* (6.5)			2 (9.5)	2 (11.8)			9* (3.1)
カンピロバクター ジョージ	1 (4.5)	3* (16.7)	1* (6.7)	1* (5.3)	6* (12.8)	2 (6.5)	3 (13.6)	3 (13.0)	4* (19.0)	1 (5.9)	1 (5.9)	3* (7.9)	29* (10.0)
エロモナス spp.	4* (18.2)	1 (5.6)	2* (13.3)	2 (10.5)	2 (4.3)	3* (9.7)			3* (14.3)	2 (11.8)		2* (5.3)	21* (7.2)

備考: *印は同一患者から2～4菌種の病原菌が検出された事例(17例)

EIEC, EHEC, エルシニア・エンテロコリチカ, コレラ菌01, ビブリオ・フルビアリス, ビブリオ・ミックス, ビブリオ・ファニシー, カンピロバクター・コリー: 陰性

イ. 食中毒発生状況

平成5年度の市内食中毒事例は表4に示すとおりである。発生事例は2例であり、サルモネラによるものが1例、原因不明が1例であった。

表4 市内食中毒発生事例（平成5年4月～6年3月）

No.	年月日	摂食者数	患者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	摂食場所
1	5. 4. 12	38	25	0	弁当 (推定)	不明	飲食店 (弁当屋)	集会所
2	6. 13	不明 (推定3)	3	0	不明	サルモネラ	不明	不明

ウ. 感染症サーベイランス事業

(ア) 百日咳

百日咳の抗体検査は、小児を中心に128名について行い、年齢群の検査件数と抗体価分布は表5に示すとおりである。百日咳菌分離は1件行い陰性であった。（表6）

表5 百日咳の抗体分布（平成5年4月～6年3月）

年齢	検査件数	抗原	抗体価								
			<10	10	20	40	80	160	320	640	1280≤
0～3	59	ワクチン株	6	14	3	3	2	7	11	7	6
		新分離株	3	10	11	11	9	4	6	3	2
4～6	34	ワクチン株	3	6	1	-	1	5	12	5	1
		新分離株	-	5	7	2	7	8	1	3	1
7～10	30	ワクチン株	1	6	1	2	6	5	7	1	1
		新分離株	-	1	5	6	6	3	7	1	1
10才 以上	5	ワクチン株	-	2	-	-	-	2	1	-	-
		新分離株	-	-	-	1	-	1	2	-	1
計	128										

備考：上記成績は、ワクチン株（東浜株，血清型1，2型），新分離株（山口株，血清型1，3型）の2抗原を用いた凝集素価である。

(イ) 異型肺炎

異型肺炎患者からの菌(*M. pneumoniae*)分離状況は表7に示すとおり検査件数1件であり陰性であった。

(ウ) 溶連菌

溶連菌分離状況は表8に示すとおりである。今年度は全て患者(溶連菌感染症を疑われる人)であり、34名中25名(73.5%)が陽性であり、全てA群であった。

A群のT型別については表9に示すとおりである。

表6 百日咳菌分離状況

(平成5年4月～6年3月)

検査件数	陽性数
1	0

表7 異型肺炎分離状況

(平成5年4月～6年3月)

検査件数	陽性数
1	0

表8 溶連菌分離状況(平成5年4月～6年3月)

区 分	検査件数	陽 性 数				
		A 群	B 群	C 群	G 群	計
患者	34	25(73.5)	—	—	—	25(73.5)
その他	0	—	—	—	—	—
計	34	25(73.5)	—	—	—	25(73.5)

備考；()内の数字は、検査件数に対する％を表す。

表9 A群T型別

区分	T 型						計
	1	3	4	12	28	UT	
患者	1	2	12	7	1	4	25

エ. 河川等の定点観測

河川水及び海水からの病原菌検出状況は表10に示すとおりである。毎月15検体、延べ180検体について検査を行い、コレラ菌non-01 77検体(42.8%)、腸炎ビブリオ41検体(22.8%)、腸チフス・パラチフス以外のサルモネラは108検体(60.0%)から検出された。赤痢菌、コレラ菌、腸チフス菌、パラチフス菌は検出されなかった。

表10 河川水及び海水から分離した病原菌検出状況（平成5年4月～平成6年3月）

年月 検査項目	H.5												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
赤痢菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コレラ菌non-01	1	5	9	10	9	11	11	6	4	2	3	6	77(42.8)
腸炎ビブリオ	3	3	5	5	6	5	4	5	3	0	0	2	41(22.8)
サルモネラ													
腸チフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パラチフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	7	6	8	15	9	11	11	10	7	9	11	4	108(60.0)
検体数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180

オ. 食品細菌

食品細菌検査は、表11に示すとおりである。平成5年度の総検体数2,722検体で、違反項目（食品衛生法成分規格及び川崎市の食品等の衛生指導基準による）は、延 881件であった。違反項目で最も多い項目は大腸菌群の 450件で、次いで細菌数 228件、セレウス菌61件、ぶどう球菌51件、リステリア属菌30件、腸炎ビブリオ26件、E.coli 12 件などの順であった。違反項目の多い食品は、例年と同様に生鮮魚介類（さしみ、すし種、貝類、生食用カキ）、食肉、豆腐、弁当、調理パン、そう菜、和洋生菓子類であり、また調理器具や手指のふきとりも違反項目が多かった。

次に、食品別の病原菌検出状況については、大腸菌は生鮮魚介類の貝類・さしみ・すし種・食肉・弁当・そう菜類・手指・器具のふきとりに、セレウス菌は豆腐に、リステリア属は生鮮魚介類のさしみ・すし種・食肉・そう菜に、ぶどう球菌は手指のふきとりに、腸炎ビブリオやビブリオ・フルビアリスなどの病原ビブリオは生食用生鮮魚介類に、真菌類は健康食品に多く検出された。

表11 食品細菌検査件数（平成5年4月～平成6年3月）

品 目			検 休 数	違 反 項 目 お よ び 件 数												
				細 菌 数	大 腸 菌 群	ぶ ど う 球 菌	サル モ ネ ラ	腸 炎 ビ ブ リ オ	コレ ラ 菌 non 01	ビ フ リ イ ・ ビ フ リ ア リス	カン ピ ロ バ ク タ ー	セ レ ウ ス 菌	ウ エ ル シ ュ 菌	E・ c o l i	リス テ リ ア 菌	真 菌
魚 介 類 及びその加工品	鮮魚介類	魚 類 生 貝 類 力 他 (さし、丸種)	- 45 64 198	- 1 18 33	- - 10 35	- - 3 4	- - - -	- 1 14 8	- - - 1	- - 1 5	- - - -	- 2 - -	- - - -	- 1 1 1	- - - 5	- - - -
	魚肉ねり製品		70	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
食 肉 及びその加工品	食 肉 製 品	肉 品	57 23	- -	26 -	- -	4 -	- -	- -	- -	1 -	- -	- -	- -	7 -	- -
	乳 製 品	乳 製 品 初他 (ワケモノ)	26 37 21	- 2 2	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -
穀 類・豆 類 及びその加工品	め ん 類	類 腐 脂	27 60 13	4 30 -	- 1 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 8 -	- - -	- - -	- - -	- 1 -
	漬 物 その他 (生野菜等)		11 29	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
野菜・果実類 及びその加工品	漬 物 その他 (生野菜等)		11 29	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 1
冷凍食品	冷 凍 食 品		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
弁当・そう菜類	弁 当	当 菜	195	48	40	4	-	3	-	-	-	1	-	-	2	-
	調 理	バ	61	15	12	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ う 菜	菜	722	61	98	2	1	-	-	-	-	7	-	10	11	-
菓子類	和 洋 生 菓 子		210	13	8	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
飲料類	清 涼 飲 料 水		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	氷	菓	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	レトルト食品 健康食品		- 24	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- 6
ふ き ど り	器 具	具 指	434 364	- -	117 100	6 27	- -	- -	- -	- -	- -	11 31	- -	- -	3 2	- -
	その他 (おしぼり)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	ふ き ン	他	- 6	- -	- 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
計			2,722	228	450	51	5	26	1	6	1	61	-	12	30	10

(2) 臨床検査部門

当部門の業務は、梅毒血清学検査、生化学検査、血液学検査、HB抗原抗体検査、HCV抗体検査、HIV抗体検査、つつが虫病検査、寄生虫卵検査等の検査及び研究業務を行なっている。

ア. 梅毒血清学検査

梅毒血清学検査の結果は、表1及び表2に示すとおりである。

表1 梅毒血清学検査法別成績

() 内 %

年	件数	定性			定量		TPHA		FTA -ABS
		緒方法	凝集法	ガラス 板 法	緒方法	凝集法	定性法	定量法	
61年	総数	1,188	1,188	1,188	1	1	1	20	0
	陽性	17(1.4)	17(1.4)	17(1.4)	—	—	0	—	—
62年	総数	1,194	1,194	1,194	0	0	5	16	0
	陽性	14(1.1)	13(1.1)	13(1.1)	—	—	2(40.0)	—	—
63年	総数	1,063	1,063	1,064	1	0	4	11	0
	陽性	13(1.2)	17(1.5)	18(1.6)	—	—	0	—	—
平成 元年	総数	922	922	922	1	0	27	20	0
	陽性	6(0.6)	9(1.0)	10(1.0)	—	—	3(11.1)	—	—
2 年	総数	723	723	723	0	0	33	40	0
	陽性	8(1.1)	12(1.7)	11(1.5)	—	—	2(6.1)	—	—
3 年	総数	640	640	640	0	0	36	47	0
	陽性	8(1.3)	13(2.0)	12(1.9)	—	—	3(8.3)	—	—
4 年	総数	870	870	870	0	0	25	14	0
	陽性	8(0.9)	8(0.9)	7(0.8)	—	—	2(8.0)	—	—
5 年	総数	641	641	641	0	0	17	7	0
	陽性	10(1.6)	9(1.4)	12(1.9)	—	—	3(17.6)	—	—

表2 梅毒血清学検査依頼状況

	母 性	婚 前	一 般	施 設 入 所	減 免	医 院	行 政	その他	計
件 数	201	70	368	5	1	0	0	0	645

イ. 生化学検査

生化学検査の結果は、表 3 に示すとおりである。

表 3 生化学検査件数

検査項目	医 療 機 関	行 政	そ の 他	計
総 た ん ぱ く	0	170	22	192
たんぱく分画	0	170	22	192
黄 だ ん 指 数	0	170	0	170
T T T	0	170	22	192
Z T T	0	194	450	644
G O T	76	194	478	672
G P T	76	194	478	672
A L P	0	170	22	192
L D H	0	170	22	192
γ - G T P	76	170	50	220
中 性 脂 肪	0	170	48	218
総コレステロール	0	170	48	218
ナ ト リ ウ ム	0	170	22	192
カ リ ウ ム	0	170	22	192
血 糖	0	170	22	192
尿 素 窒 素	0	170	22	192
尿 酸	0	0	0	0
リ チ ウ ム	0	0	0	0
計	228	2,792	1,750	4,542

ウ. 血液学検査

血液学検査の結果は、表4に示すとおりである。

表4 血液検査件数

検査項目	行政	保健所	合計
赤血球数	171	0	171
白血球数	171	0	171
血色素量	171	0	171
ヘマトクリット	171	0	171
血液像	171	0	171
計	855	0	855

表5 職員HBs抗原・抗体陽性率

年度	HBs抗原陽性	HBs抗体陽性
57	6/274 (2.2%)	44/274 (16.1%)
58	3/271 (1.1%)	49/271 (18.1%)
59	2/313 (0.6%)	54/313 (17.3%)
60	6/333 (1.8%)	59/333 (17.7%)
61	5/357 (1.4%)	62/357 (17.4%)
62	7/443 (1.6%)	89/443 (20.1%)
63	6/411 (1.5%)	196/411 (47.7%)
元年	4/412 (1.0%)	184/412 (44.7%)
2年	4/401 (1.0%)	152/401 (37.9%)
3年	5/398 (1.3%)	165/398 (41.5%)
4年	6/407 (1.5%)	186/407 (45.7%)
5年	6/419 (1.4%)	217/419 (51.8%)

HBワクチン接種者 226名に対して抗体陽性者 154名で68.1%の保有率であった。

表 6 - 1 職員 B 型肝炎定期検診施設別件数

年 度	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5
川 崎 保 健 所	19	20	21	11	21	27	18	24	28	27	28	30
大 師 保 健 所	11	18	17	17	20	24	22	22	22	21	17	17
田 島 保 健 所	13	15	25	20	24	28	34	33	25	27	31	23
幸 保 健 所	26	24	26	29	30	31	32	31	32	29	36	38
中 原 保 健 所	29	22	19	26	30	40	39	44	39	41	42	41
衛 生 研 究 所	24	26	31	29	29	35	25	30	24	26	26	20
看 護 専 門 学 校	10	6	11	10	12	12	11	11	12	10	12	11
リハビリテーション 医療センター	20	18	20	29	30	29	28	27	31	31	30	28
がん検診センター	12	18	20	23	22	24	23	22	21	24	27	24
高 津 保 健 所	38	32	40	42	43	52	46	45	45	37	25	28
宮 前 保 健 所	27	26	31	34	33	37	36	38	37	32	38	32
多 摩 保 健 所	25	26	31	30	33	45	41	37	32	41	44	45
麻 生 保 健 所	20	20	19	28	25	44	42	39	42	37	36	40
精神保健相談センター	—	—	—	2	2	4	4	4	6	6	6	5
向 丘 診 療 所	—	—	2	3	3	2	3	3	5	4	4	5
保健部地域保健課	—	—	—	—	—	9	7	2	—	—	—	—
三 田 診 療 所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5
老人保健施設三田 あすみの丘	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27
総 件 数	274	271	313	333	357	443	411	412	401	398	407	419

表 6 - 2 看護専門学校 B 型肝炎定期検診

対 象	総件数	H B s 抗原陽性者数	H B s 抗体陽性者数
学 生	1 8 6	1 (0.5 %)	2 0 (10.8 %)

※H B s 抗原陽性者 1 名は、H B e 抗体陽性者であった。

表7 川崎市B型肝炎母子感染防止対策事業によるHBs抗原検査

対 象	総件数	HBs抗原陽性者数	HBs抗体陽性者数
妊 婦	204	2 (1.0%)	19 (9.3%)

※HBs抗原陽性者2名は、HBe抗原陽性者1名とHBe抗体陽性者1名であった。

表8 一般依頼によるHBs抗原・抗体検査

対 象	総件数	HBs抗原陽性者数	HBs抗体陽性者数
一 般 依 頼	466	3 (0.6%)	58 (12.4%)

HBs抗原陽性者3名(0.6%)で、2名はHBe抗原陽性で、1名はHBe抗体陽性であった。

表9 HIV抗体検査件数

	保 健 所	そ の 他	計
平成5年 4月	172	8	180
5月	135	8	143
6月	143	8	151
7月	130	8	138
8月	162	10	172
9月	96	8	104
10月	120	8	128
11月	153	8	161
12月	121	8	129
平成6年 1月	122	8	130
2月	108	8	116
3月	99	8	107
計	1,561	98	1,659

※HIV-2型検査を8月1日より実施

表10-1 HCV抗体検査

	保 健 所	医 療 機 関 等	サーベイランス事業
検 査 件 数	1	76	76
陽性件数(%)	0	13(17.1%)	6(7.9%)

表10-2 感染症サーベイランス事業HCV関連抗体の検出状況(平成5年4月～6年3月)

性別	年齢(歳)	≤19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	≥70	不明	合計
男	検査件数	4	4	6	5	7	5	5	1	37
	陽性件数(%)	0	0	0	0	0	2(40.0%)	0	0	2(5.4%)
女	検査件数	2	9	6	8	3	7	3	1	39
	陽性件数(%)	0	0	1(16.7%)	0	1(33.3%)	2(28.6%)	0	0	4(10.3%)
計	検査件数	6	13	12	13	10	12	8	2	76
	陽性件数(%)	0	0	1(8.3%)	0	1(10.0%)	4(33.3%)	0	0	6(7.9%)

エ. 寄生虫卵検査

(ア) セロハンテープ法～民生局関係の59件と一般の1件、計60件の依頼があったが、いずれも陰性だった。

(イ) 集卵法～一般依頼1件は陰性だった。

オ. つつが虫病患者血清抗体価検査

血清学診断のための調査を行っているが間接蛍光抗体法により抗体(IgM, IgG)が確認されたのは表11のとおりである。

表11. つつが虫病患者血清抗体価検査

平成2年	平成3年	平成5年	平成6年
2 名	3 名	1 名	—

カ. スギ花粉調査

昭和61年2月から衛生局で実施してきたスギ花粉調査の一環として、衛生研究所屋上およびヘリコプターを用いた上空花粉調査(消防局航空隊の協力による)を、平成5年度も継続して行った。

(ア) 調査項目

- 落下花粉調査：衛生研究所屋上でダーハム式標準捕集器とISロータリー式捕集器を用い、24時間毎に観察した。
- 上空花粉調査：ヘリコプターによる市域及び周辺上空の定点で飛散花粉を捕集した。

(イ) 調査結果

- 標準的な捕集方法としているダーハム式捕集器での年間総捕集数は155cell/cm²であった。これは過去8年間で3番目に少ない捕集数であった。
ISロータリー式捕集器では年間総捕集数が914cell/cm²で、前者の約5.9倍多かった。(表1)
- 最多捕集月は3月で、最多捕集日はダーハム式で3月11日と21日の9 cell/cm²、ISロータリー式では3月21日で109cell/cm²捕獲集された。
- 上空では延べ9回の調査を行った。全般に捕集数が少なかったために、地域的な捕集傾向が明確に示されなかった。(表2)

キ. 衛生動物検査

衛生動物に関する検査は感染症対策課、環境食品課および保健所等行政機関の他、学校や保育園などの公的機関および民間事業所や一般市民から依頼があった。平成5年度は行政機関からの依頼が、昆虫綱409件とダニ綱4件であった。一般市民からの依頼検査は、昆虫綱4件、ダニ綱5件であった。その他、害虫やダニ等に関する来所や電話による相談25件が行政機関、学校・保育園および市民からあった(表3)。

昆虫類は6月から10月に多く、ダニ類は10月に多い傾向が示された。例年に比べて盛夏に持ち込まれるものが少なく、暖冬冷夏の影響によるものと考えられた(表4)。

表1 スギ花粉捕集数 (Cell/cm²/24h)

平成5年度 (1994/02-04)																																	
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	/	/	/	6
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	4	1	1	1	2	2	1	6	/	/	/	22	
4月	1	3	4	3	8	7	0	0	0	4	9	1	1	1	3	2	1	1	7	9	1	1	4	4	4	1	4	2	8	1	2	94	
5月	16	18	13	14	12	20	9	0	0	22	54	29	43	4	14	15	12	3	5	23	108	4	0	37	23	23	17	25	30	7	7	608	
6月	1	16	12	1	2	0	12	3	2	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	53	
7月	1	88	69	8	2	2	48	21	38	0	1	1	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	284	

*上段：ダーハム式捕集器、下段：ISロータリー式捕集器

表2 上空定点におけるスギ花粉捕集数 (cell/cm²/5min)

平成5年度(1994年2月-4月)

定 点	1 月	2 月			3 月			4 月	
	25日	8 日	14日	24日	1 日	11日	14日	5 日	14日
川 崎 A	0	0	-	0.1	0.3	-	0.8	6.0	-
川 崎 B	-	0.1	-	0.6	0.5	-	0.8	14.3	-
高 島 平	0	0	-	0.1	0.3	-	2.3	4.5	-
橋 本	0	0.1	-	0.3	3.0	-	2.2	7.4	-
鎌 倉	0	0	-	0.5	10.3	-	1.2	13.5	-
荒 川	-	-	0	-	-	15.5	-	-	0.5
多 摩 川	-	-	0.2	-	-	98.4	-	-	1.2
鶴 見 川	-	-	0.3	-	-	152.5	-	-	1.3
相模川上流	-	-	0.1	-	-	262.5	-	-	3.9
相模川下流	-	-	0.1	-	-	18.6	-	-	0.8

*ヘリコプターの高度約 300m, 速度約80km/h, 5 分間捕集。数値は 1 cm²当たりの捕集数。

- : 調査していない事を示す。川崎B: 川崎Aと同一の空域定点で約45分後に調査した。

高島平: 東京都板橋区。橋本: 神奈川県橋本市。鎌倉: 神奈川県鎌倉市。荒川: 荒川大橋より上流。多摩川: 登戸より下流。鶴見川: 末吉橋より上流。相模川上流: 高田橋より上流。相模川下流: 新幹線より下流。

表3 衛生動物の項目別検査依頼件数

			総 数	行政依頼	一般依頼
総 数			4 4 7	4 3 0	1 7
昆 虫 綱	総 数		4 1 3	4 0 9	4
	刺 咬		1 8 9	1 8 8	1
	食 品		4	4	0
	不 快		2 2 0	2 1 7	3
ダ ニ 綱 (室内塵)	総 数		9	4	5
	検 出	刺 咬	5	3	2
		食 品	0	0	0
		不 快	4	1	3
	不 検 出		0	0	0
そ の 他	害虫・ダニの相談		2 5	1 7	8

表4 苦情相談検体より検出同定された動物の月別出現頻度（回数）

項 目		総 頻度	平成5年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 平成6年 1月 2月 3月											
総 頻 度		431	18	25	58	74	63	81	53	39	20	0	0	0
虫 類	総 頻 度	411	16	22	55	74	63	79	47	39	16	0	0	0
	ア ダ マ ジ ラ ミ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	ア ブ ラ ム シ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	カツブシチャタテ	4	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-
	カツオブシムシ	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	ヒラタコクヌストモトキ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	ホシチョウバエ	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	ク ロ バ エ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ア オオクロヤブカ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ キ リ バ チ	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	ヤ ユ ス リ カ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	蚊 ガ 幼 虫	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
		205	13	18	30	37	27	33	23	23	1	-	-	-
		187	2	4	21	37	33	40	22	16	12	-	-	-
		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ダ ニ 類	総 頻 度	20	2	3	3	0	0	2	6	0	4	0	0	0
	チ ビ コ ナ ダ ニ	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	ケ ナ ガ コ ナ ダ ニ	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	ヤ ケ ヒ ヨ ウ ヒ ダ ニ	4	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	ユ ナ ヒ ヨ ウ ヒ ダ ニ	6	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-
	ホ ソ ツ メ ダ ニ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	フ ト ツ メ ダ ニ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ト リ サ シ ダ ニ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ワ ク モ ダ ニ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マ ダ ニ	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-

注：数値は個体数ではなく件数を示す。同一の検体より、複数種の検出された場合は各々掲げた。

(3) ウイルス検査部門

ア. インフルエンザ検査

平成6年1月25日から2月28日までの期間に4施設、12学級で集団かぜが発生した。調査を行った1集団からはウイルスは分離されなかったが、血清検査では5名全員にA香港型に対する抗体価の有意上昇がみられた(表1)。

表1

検体採取日	学 校 名	ウイルス分離	血 清 検 査	ウイルス型
6. 1. 27	東大島小(川崎区)	0/5	5/5	A香港型

イ. 風疹抗体検査

平成5年度の月別検査件数は表2に示すとおりである。

表2

年 月	5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	6.1	2	3	合計
検査件数	16	16	6	4	13	10	6	9	7	10	10	9	116

ウ. 感染症サーベイランス事業

(ア) 26歳以下を対象に麻疹、風疹ならびにおたふくかぜの抗体検査を行った。それぞれのウイルスに対する検査件数と抗体保有率は、表3に示すとおりである。

表3

検査項目 年令(歳)	麻 疹		風 疹		おたふくかぜ	
	検査件数	H I 抗体 保有率(%)	検査件数	H I 抗体 保有率(%)	検査件数	H I 抗体 保有率(%)
～2	45	21 (46.7)	45	22 (48.9)	44	12 (27.3)
3～4	29	23 (79.3)	29	12 (41.4)	28	8 (28.6)
5～6	19	14 (73.7)	19	16 (84.2)	17	11 (64.7)
7～8	18	16 (88.9)	18	11 (61.1)	18	10 (55.6)
9～10	12	8 (66.7)	12	10 (83.3)	12	7 (58.3)
11～	5	5(100.0)	5	3 (60.0)	5	4 (80.0)
合 計	128	87 (68.0)	128	74 (57.8)	124	52 (41.9)

(イ) 下痢症患者糞便から酵素抗体法(EIA) と電子顕微鏡を用いてロタウイルスの検出を行った。

ロタウイルスについては32例中13例 (40.6%) が陽性で、年齢別では生後3ヵ月から4歳の年齢層で陽性者が認められた(表4)。そのうち4歳から検出されたロタウイルスはEIAに反応せず、SDS-PAGEの結果C群ロタウイルスと判明した。

月別では4、5月及び2、3月にかけてみられた(表5)。また、ロタウイルス陰性の検体からアデノウイルス1件、SRV3件が検出された。

表4

年齢(歳)	検査件数	ロタウイルス 陽性数(%)	他 の ウ イ ル ス
< 1	8	4(50.0)	アデノウイルス 1(12.5) SRV 3(16.7)
1	18	8(44.4)	
2	3	0(0.0)	
3	1	0(0.0)	
4	1	1(100.0)	
年齢不明	1	0(0.0)	
合 計	32	13(40.6)	

表5

発症年月	検査件数	ロタウイルス 陽性数(%)	他 の ウ イ ル ス
5. 4	4	3(75.0)	
5	3	1(33.3)	
6	2	0(0.0)	
7	—	—	
8	—	—	
9	—	—	
10	1	0(0.0)	
11	1	0(0.0)	
12	6	0(0.0)	
6. 1	3	0(0.0)	
2	5	3(60.0)	SRV 2 (33.3) SRV 1 (33.3)
3	7	6(85.7)	アデノウイルス 1 (20.0)

(ウ) 市内医療機関に来院した患者について、陰部ヘルペスの検出を直接蛍光染色法で行った。
年齢、性別の検出率は表6に示すとおりである。

表6

性 別	年 齢 (歳)	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合 計
男	検 査 件 数	—	—	—	—	—	—
	陽性数 (%)	—	—	—	—	—	—
女	検 査 件 数	—	—	1	—	—	1
	陽性数 (%)	—	—	0(0.0)	—	—	0(0.0)
合 計	検 査 件 数	—	—	1	—	—	1
	陽性数 (%)	—	—	0(0.0)	—	—	0(0.0)

(エ) 市内医療機関に来院した患者について、陰部クラミジアの検出を直接蛍光染色法で行った。
年齢、性別の検出率は表7に示すとおりである。

表7

性 別	年 齢 (歳)	～19	20～29	30～39	40～49	50～	合 計
男	検 査 件 数	2	13	3	1	1	20
	陽性数 (%)	2(100.0)	5(38.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	8(40.0)
女	検 査 件 数	—	3	—	—	—	3
	陽性数 (%)	—	1(33.3)	—	—	—	1(33.3)
合 計	検 査 件 数	2	16	3	1	1	23
	陽性数 (%)	2(100.0)	6(37.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	9(39.1)

(オ) 市内医療機関に来院したかぜ様患者について、ウイルス分離を細胞培養法で行った。月別の分離率は表8に示すとおりである。

表8

発症 年月	検査 件数	分離数(%)	インフルエンザウイルス		その他のウイルス				
			A 香港型	B 型	コサッキー A4型	コサッキー B2型	コサッキー B5型	ヘルペス 1型	エコー18 型
5. 4	16	0 (0.0)	—	—	—	—	—	—	—
5. 5	6	0 (0.0)	—	—	—	—	—	—	—
6. 6	2	0 (0.0)	—	—	—	—	—	—	—
7. 7	0	—	—	—	—	—	—	—	—
8. 8	0	—	—	—	—	—	—	—	—
9. 9	3	1 (33.3)	—	—	1	—	—	—	—
10. 10	5	1 (20.0)	—	—	—	—	1	—	—
11. 11	40	2 (5.0)	—	—	—	1	—	1	—
12. 12	29	2 (6.9)	—	—	—	—	1	—	1
6. 1	72	11 (15.3)	11	—	—	—	—	—	—
2. 2	182	67 (36.8)	67	—	—	—	—	—	—
3. 3	301	135 (44.9)	134	1	—	—	—	—	—
合計	656	219 (33.4)	212	1	1	1	2	1	1

(カ) 市内医療機関に来院したヘルパンギーナ，手足口病，髄膜炎患者等について，ウイルス分離を細胞培養法で行った。月別の分離率は表 9 に示すとおりである。

表 9

発症 年月	検査 件数	分離数 (%)	分 離 ウ イ ル ス									
			コ A ク 6 サ型 ッ キ 1	コ A ク 8 サ型 ッ キ 1	コ A ク 16 サ型 ッ キ 1	コ B ク 3 サ型 ッ キ 1	コ B ク 4 サ型 ッ キ 1	コ B ク 5 サ型 ッ キ 1	エ ン テ ロ 71 型	ア デ ノ 1 型	ア デ ノ 2 型	ム ン プウ スイ ルス
5. 4	4	0(0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	6	1(16.7)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
6	9	1(11.1)	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
7	30	8(26.7)	2	2	2	—	—	—	—	1	1	—
8	33	6(18.2)	1	—	—	—	1	—	3	—	—	1
9	37	2(5.4)	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
10	15	4(26.7)	—	—	2	—	—	1	1	—	—	—
11	9	2(22.2)	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
12	10	3(30.0)	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—
6. 1	2	0(0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	3	0(0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	6	0(0.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	164	27(16.5)	3	2	9	1	1	1	5	1	2	2

2. 理化学検査担当

(1) 食品検査部門

ア. 収去検査

市内9保健所及び環境食品課、教育委員会、学校給食会から搬入された、食品及び食品添加物等について、食品衛生法に基づく規格基準等に係わる試験を実施した。

違反食品は、過量使用1件（ワントンの皮中のプロピレングリコール1.39%）、表示違反4件（そうざい中の合成着色料、焼き肉のたれ中の安息香酸、菓子中のウコン色素、タピオカ中のクエン酸）であった。（表1）

イ. 合成抗菌剤、抗生物質残留検査

国産及び輸入畜水産食品中の抗生物質4系統、合成抗菌剤16種類について検査を実施したが全て不検出であった。（表2）

ウ. 自然毒検査

貝毒検査では、ホタテ貝について下痢性貝毒、麻痺性貝毒の検査を行ったが、ともに基準値以下であった。

また、フグ毒検査はフグ加工品6検体について検査を行ったが、すべて基準値以下であった。

カビ毒検査は、輸入米7検体、その他12検体について検査を実施したが、全て不検出であった。（表3）

エ. TBT, TPT等の検査

魚類15種について検査を実施した。検出濃度はTBTについては、0.01以下～0.13 $\mu\text{g/g}$ 、TPTについては、不検出～0.37 $\mu\text{g/g}$ 、DBTについては0.01～0.09 $\mu\text{g/g}$ であった。

オ. 健康食品検査

環境食品課依頼の、健康食品25検体、77項目（フェオフォルバイド、クロロフィルb、葉緑素、ビタミンE、ビタミンB1、ビタミンB2、ビタミンC、グリコーゲン、 β -カロチンなど）について、検査を実施したが、全て、自主規格（財日本健康食品協会）に適合していた。

カ. 輸入食品検査

輸入食品40検体、140項目（合成着色料、ソルビン酸、安息香酸、EDTA、ポリソルベート、クエン酸、TBHQ、亜硫酸塩等）について、検査を実施した。違反は表示違反2件（菓子中のウコン色素、タピオカ中のクエン酸）であった。

キ. 輸入かんきつ類中の、防かび剤の検査

輸入かんきつ類11検体、40項目について、防かび剤の検査を実施したが、違反はなかった。

ク. 苦情食品検査

保健所へ、苦情品として届けられたもののうち、当所へ搬入された検体は、6件であった。その内容を、表4にまとめた。

表1 食品及び、食品規格基準等に係わる検査内容一覧

検 査 内 容		項 目 数	違 反 数
食 品 中 の 添 加 物 な ど	保 存 料	3 2 5	1
	甘 味 料	2 8	0
	着 色 料	1 1 7	2 (1)
	漂 白 剤	5 5	0
	発 色 剤	2 5	0
	酸 化 防 止 剤	6 4	0
	品 質 保 持 剤	1 4	1
	防 か び 剤	2 8	0
	殺 菌 料	2 0	0
	強 化 剤	1 9	0
	酸 価 過 酸 化 物 価	2 5 0	0
	シ ア ン 化 合 物	2	0
	そ の 他 の 試 験	3 1	1 (1)
	小 計	9 7 8	5 (2)
規 格	器 具 , 容 器 包 装	1 9	0
	牛 乳 , 乳 製 品	1 3 8	0
	食 品 添 加 物	2 7	0
	小 計	1 8 4	0
食 品 の 品 質 等 の 試 験		4 2	—
そ の 他		3 7	—
総 計		1 2 4 1	5 (2)

() 内の題字は輸入食品

表2 合成抗菌剤・抗生物質検査結果

		検 体 数	項 目 数	抗 生 物 質																					
				ス ル フ ア モ ノ メ ト キ シ ン	ス ル フ ア ジ メ ト キ シ ン	ス ル フ ア キ ノ キ サ リ ン	ス ル フ ア ジ ミ ジ ン	ス ル フ ア メ ラ ジ ン	オ キ ソ リ ン 酸	チ ア ン フ エ ニ コ ー ル	オ ル メ ト ブ リ ム	ト リ メ ト ブ リ ム	ピ リ メ タ ミ ン	ジ フ ラ ゾ ン	フ ラ ゾ リ ド ン	ナ イ カ ル バ ジ ン	ク ロ ビ ド ー ル	カ ル バ ド ッ ク ス	モ ラ ン テ ル	簡 易 試 験	テ ト ラ サ イ ク リ ン 系	ペ ニ シ リ ン 系	ア ミ ノ グ リ コ シ ド 系	マ ク ロ ラ イ ド 系	
合 計		38	485	36	36	38	36	36	8	19	17	17	17	9	2	4	4	9	9	38	38	38	38	38	
は ち み つ																									
魚 介 類	ブ リ																								
	タイ・アジ	3	33	3	3	3	3	3	3											3	3	3	3	3	
	サケ・マス																								
	コ イ																								
	ア ユ																								
	ウ ナ ギ	3	33	3	3	3	3	3	3											3	3	3	3	3	
	ティラピア																								
	ヒ ラ メ																								
	エ ビ	2	12							2											2	2	2	2	2
食 肉	国 産	牛 肉	3	33	3	3	3	3	3		3										3	3	3	3	3
		豚 肉	2	36	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2
		鶏 肉	4	56	4	4	4	4	4		4	4	4	4							4	4	4	4	4
	輸 入	牛 肉	10	110	10	10	10	10	10		10										10	10	10	10	10
		豚 肉	7	112	7	7	7	7	7			7	7	7	7			7	7	7	7	7	7	7	7
		鶏 肉	4	60	4	4	4	4	4			4	4	4			4	4			4	4	4	4	4

表3 自然毒検査結果

検 査 対 象	検体数	項目数
貝毒*1 (ホタテ貝)	2	4
魚毒*2 (ふぐ)	6	6
カビ毒*3 (輸入米)	7	2 8
(その他)	1 2	3 5
合 計	2 7	7 3

*1 麻痺性貝毒, 下痢性貝毒

*2 テトロドトキシン

*3 アフラトキシンB1, B2, G1, G2

表4 苦情品の検査結果

品名	苦情内容	検査項目	検査結果及び結論	
肉まん	異物（布片）	鏡検	対照品の布片の繊維の表面構造と一致した。	
イクラ	弾力性なく、ゼリー状	温湯に浸漬	白濁せず	
		蛋白含量	苦情品	対照品（天然）
			0.4 %	26.0 %
		電気泳動	蛋白含量少なく分画できず 以上の結果より苦情品は、人造イクラと推定された。	
グレープフルーツ	皮で手がかぶれた		苦情品	対照品
		オクトフェニルフェノール	不検出	0.001g/kg
		テベンダゾール	0.003g/kg	0.001g/kg以下
		ジフェニール	不検出	不検出
		イマザリル	不検出	不検出
			防ばい剤の残留によりかぶれたのではない。	
油	焼きそばが 苦い	酸価	0.27	
		過酸化物質価	3.9 meq/kg 油の酸化による苦味ではない。	
クッキー （4種類）	異味		No. 1	No. 2
		酸価	0.70	1.12
		過酸化物質価	2.5meq/Kg	6.0meq/Kg
			No. 3	No. 4
			1.40	1.39
			1.7meq/Kg	5.5meq/Kg
			油の酸化による異味ではない。	
アイスcream	異物	鏡検	対照品（バナナの皮裏）の繊維質と比較した結果、類似した画像がみられた。以上の結果、バナナの皮裏の繊維質が混入した物と推定された。	

(2) 水質検査部門

ア. 飲料水検査

平成4年度に実施した一般飲料水の飲料適否総検査件数は、1357件で、うち164件(12.1%)が飲料不適であった。総検査件数は、1357件で、前年度の1451件と比較して6.5%の減少である。その検査結果を表1に示した。

内訳は、貯槽水が913件で前年度とほぼ同じである。船舶水は89件で前年度比50.8%の減少である。井戸水、簡易専用水道水及び専用水道水はほぼ前年度並である。

不適率については、例年通り井戸水が最も高く45.4%であった。貯槽水は僅かに減少したが船舶水は昨年に比べて17.7%から6.7%と大幅に減少した。全体の不適率は前年度の15.2%から12.1%に減少した。なお、水道直結栓水については、平成4年度から検査を開始したものである。

飲料水検査件数、特に船舶水については市内の行政及び一般検査依頼に応ずるために、平成3年度から市外からの依頼があったものを、それぞれ所管する自治体の研究所または民間の検査機関に依頼するように指導してきた為に相当減少し一定してきたと思われる。

表1 一般飲料水検査結果

() : 前年度

種 類		井戸水	貯槽水	船舶水	簡易専用 水道水	専 用 水道水	水道直結 栓 水	計
検 査 件 数		260 (264)	911 (904)	89 (181)	4 (2)	85 (76)	8 (24)	1,357 (1,451)
種 類 比 率 (%)		19.2 (18.2)	67.1 (62.3)	6.6 (12.5)	0.3 (0.1)	6.3 (5.2)	0.6 (0.6)	100.0 (100.0)
不 適 件 数		118 (134)	38 (52)	6 (32)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	164 (221)
不 適 率 (%)		45.4 (50.8)	4.2 (5.8)	6.7 (17.7)	0.0 (0.0)	2.4 (1.4)	0.0 (0.0)	12.1 (15.2)
不 適 項 目 件 数	外 観	21 (28)	3 (46)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (77)
	臭 気	9 (9)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (15)
	pH	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	硝酸性窒素および 亜硝酸性窒素	10 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	11 (14)
	塩 素 イ オ ン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	過マンガン酸 カリウム消費量	1 (5)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (6)
	鉄	14 (22)	10 (15)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (41)
	マ ン ガ ン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	亜 鉛	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	総 硬 度	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	蒸 発 残 留 物	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	一 般 細 菌	58 (62)	22 (27)	5 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	79 (113)
	大 腸 菌 群	134 (125)	5 (10)	3 (8)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	143 (107)
	トリクロロエチレン	0 (0)	— —	— —	— —	— —	0 (0)	0 (0)
	テトラクロロエチレン	2 (2)	— —	— —	— —	— —	0 (0)	2 (1)
	1,1,1トリクロロエタン	0 (0)	— —	— —	— —	— —	0 (0)	0 (0)

イ. 排水水、環境水等の検査

「水質汚濁防止法」，「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律」，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の規程に基づく排水水、環境水、底質、汚泥等の検査及び水に係る衛生的調査等の依頼を受け、それぞれの目的に応じた試験を行っている。

種類別検査件数を表 2 に示す。

表 2 排水水、環境水等の検査件数 () 前年度

種 類	検査件数	備考
排 出 水	315 (372)	事 業 所 クリーニング排水等
環 境 水	11 (18)	海域・河川
底 質	24 (14)	川崎港内・運河
汚 泥	15 (6)	産業廃棄物
プール・浴槽水	120 (111)	水質基準判定
計	491 (552)	

ウ. クリーニング排水検査

前記イの排水水検査の内、266件は、クリーニング排水中の有機塩素化合物のテトラクロロエチレン等の検査で、平成3年度から通常業務として受け入れを開始した水質汚濁防止法の水質基準等の適否判定と事業所指導のために、保健所においてとりまとめ、事業者自らの責任で検査するものと関係諸機関の調査に基づく一斉検査がある。その検査結果を表3に示した。

表 3 クリーニング排水検査結果

種 類	検査件数	基準不適合件数	基準不適合率%
テトラクロロエチレン	211	36	17.1
1,1,1-トリクロロエタン	55	21	38.2
合 計	266	57	21.4

エ. 当研究所の下水水質測定

下水道法に基づき当所から排除された下水の水質検査を毎月2回実施している。本年度の結果を表3に示す。なお、フェノール類、シアン、六価クロムの各項目については、すべて不検

出であった。1日平均の排水量は、32.2m³であった。

表4 最終下水水質測定結果

項目	pH	溶解性鉄 mg/ℓ	溶解性マンガン mg/ℓ	フェノール類 mg/ℓ	シアン mg/ℓ	六価クロム mg/ℓ
平均値	7.2	0.03	0.00	不検出	不検出	不検出
範囲	6.6～8.0	0.00～0.21	0.00～0.03	---	---	---

(3) 環境検査部門

ア. 家庭用品の試験検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」における規制項目17物質のうち、15物質について試験を行った。試験内容を表-1に、ホルムアルデヒドの試験結果を表-2に示した。

イ. 建築物等の環境検査

公共施設6ヵ所の煙道中ばいじん量6、硫黄酸化物4、および、窒素酸化物6を測定したがいずれも基準値いかであった。

ウ. 貸しおしぼり、貸しタオル等の検査

貸しおしぼり26検体について、PH・変色及び異物の検査を行った。PH値は、6.4～8.6であった。

異臭・変色については、認められなかったが、異物については、10検体に毛髪・ゴミ等の混入をみとめた。

エ. 多摩川及び川崎港で採取した魚類の検査

多摩川のこい、へらぶな、やまべ、はぜ、このしろ、せいご等7検体、川崎港のあいなめ、かさご、きす、めばる、べら等8検体について、PCB、各種有害元素、n-パラフィン系炭化水素、B(a)P、クロルデン類等の検査を行った。その検査結果は、表-3、表-4、表-5、表-6、表-7、表-8に示すとおりである。

オ. カドミウム検査

市内産玄米28検体について、カドミウムおよびカドミウム化合物の検査を行った。その検査結果は、表-9に示すとおりであり、カドミウムとしてnd～0.08ppmの範囲であった。

カ. 食器等の検査

輸入食器等4検体について、カドミウム・鉛の溶出試験を行った結果、カドミウムは適合であったが、鉛は、1検体が不適合であった。

キ. 清涼飲料水の規格試験

清涼飲料水12検体について検査した検査結果は、すべて適合であった。

ク. 市内流通食品中の放射能検査

市内に流通している輸入食品12検体について、セシウム134・セシウム137の2核種につき検査を行った。その検査結果は、表-10示すとおりである。

併せて、調査研究の一環として市内流通食品中のうち、輸入食品(11検体)・国内産食品(10検体)について検査を行った。その検査結果は、表-11-1、表-11-2に示すとおりである。

ケ. 残留農薬検査

市内産の青果物25検体、学校給食用に搬入された果実3検体および牛乳4検体について、検査を行った。その検査結果は、表-12、表-13に示すとおりであり、すべて基準値以内であった。

併せて、輸入米(24項目)8検体・小麦粉(3項目)4検体・輸入産フルーツ(22項目)5検体及び市内流通食品(51項目)20検体について、検査を行ったが、すべて基準値以内であった。

コ. 健康食品検査

健康食品として、販売されている24検体のうちから、PCB、各種有害元素、残留農薬について検査を行った。その検査結果は、表-14、表-15に示すとおりである。

サ. 畜水産食品の残留物質検査

輸入食肉・国産食肉等17検体について、検査を行った。その検査結果は、表-16に示すとおりである。

表-1 家庭用品試買試験検査状況

検 査 項 目	対 象 家 庭 用 品	検 体 数	不 適 数
ホルムアルデヒド	織 維 製 品	1 6 8	0
塩化水素・硫酸	住 宅 用 洗 浄 剤	7	0
塩化ビニール	家庭用エアゾル製品	0	0
有機水銀化合物	織 維 製 品	1 0	0
デイルドリン	織 維 製 品	1 0	0
D T T P	織 維 製 品	1 0	0
トリフェニル スズ化合物	織 維 製 品 家 庭 用 ワ ッ ク ス	1 0	0
トリブチル スズ化合物	織 維 製 品 家 庭 用 ワ ッ ク ス	1 0	0
水酸化カリウム・ 水酸化ナトリウム	住 宅 用 洗 浄 剤	1 3	0
B D B P P	織 維 製 品	1 0	0
T D B P P	織 維 製 品	1 0	0
メ タ ノ ー ル	家庭用エアゾル製品	2 4	0
テトラクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2 4	0
トリクロロエチレン	家庭用エアゾル製品	2 4	0
A P O	防 炎 加 工 剤	0	0
総 計		3 3 0	0

表-2 ホルムアルデヒド検査結果

検 体 名			検体数	検 出 範 囲	平 均 値
織 維 製 品	生後24月以内の 乳幼児用のもの	よだれ掛け	2	nd ~0.008	0.004
		くつした	2	0.008~0.015	0.006
		中 衣	10	nd ~0.021	0.010
		外 衣	96	nd ~0.026	0.011
		おむつカバー	2	0.011	0.011
		帽 子	1	0.010~0.013	0.015
		寝 衣	3	0.010~0.013	0.012
		寝 具	4	nd ~0.009	0.007
	上記以外のもの	下 着	19	nd ~ 14.4	5.9
		寝 衣	26	nd ~ 23.7	6.0
		そ の 他	3	nd ~114.4	6.5

* 生後24月以内の乳幼児用のものはA-A_oの吸光度値 * nd : 0.005 未満* 生後24月以外のもものは $\mu\text{g/g}$ * nd : 4.2 $\mu\text{g/g}$ 未満

表-3 多摩川の魚類中のPCB及び各種有害元素の検査結果

単位 : ppm

検 査 項 目		PCB	総水銀	銅	鉛	ガリウム	マンガン	クロム	亜鉛	ヒ素
検 体 数		7	7	7	7	7	7	7	7	7
魚 介 類	範 囲	nd	nd	0.24			0.14		3.33	nd
		~ 0.10	~ 0.07	~ 0.68	nd	nd	~ 2.86	nd	~ 20.69	~ 0.80

* nd : 0.01未満

表－４ 多摩川の魚類中のｎ－パラフィン系炭化水素等の検査結果

検査項目	ｎ－ペンタデカン	ｎ－ヘプタデカン	ｎ－ノナデカン	ベンゾ(a)ピレン
検 体 数	7	7	7	7
範 囲	nd ～ 0.6	nd ～ 26.0	nd ～ 6.0	nd

*単位：ｎ－パラフィン系炭化水素 ppm *nd：0.1 未満
：ベンゾ(a)ピレン ppb

表－５ 多摩川の魚類のクロルデン類の検査結果

単位：ppm

検査項目	ヘブタクロル	ヘブタクロル エボキシド	trans- クロルデン	cis- クロルデン	trans- ノナクロル	オ キ シ - クロルデン
検 体 数	7	7	7	7	7	8
範 囲	nd	nd	0.001 ～ 0.005	0.001 ～ 0.007	0.002 ～ 0.013	nd ～ 0.001

*nd：0.01未満

表－６ 川崎港の魚類中のPCB及び各種有害元素の検査結果

単位：ppm

検査項目	PCB	総水銀	銅	鉛	ガドリウム	マンガン	クロム	亜鉛	ヒ素
検 体 数	8	8	8	8	8	8	8	8	8
魚介類 範 囲	nd 0.09	nd 0.04	0.08 0.43	nd	nd	0.09 0.97	0.07	2.29 10.83	0.86

* nd：0.01未満

表-7 川崎港の魚類中のn-パラフィン系炭化水素等の検査結果

検査項目	n-ペンタデカン	n-ヘプタデカン	n-ノナデカン	ベンゾ(a)ピレン
検 体 数	8	8	8	8
範 囲	nd	nd ~ 0.05	nd ~ 0.10	nd

*単位：n-パラフィン系炭化水素 ppm *nd：0.1 未満
 :ベンゾ(a)ピレン ppb

表-8 川崎港の魚類中のクロルデン類の検査結果

単位：ppm

検査項目	ヘプタクロル	ヘプタクロル エポキシド	trans- クロルデン	cis- クロルデン	trans- ノナクロル	オキシー クロルデン
検 体 数	8	8	8	8	8	8
範 囲	nd	nd	nd ~ 0.001	nd ~ 0.005	nd ~ 0.009	nd ~ 0.003

*nd：0.001 未満

表-9 玄米中のカドミウム検査結果

単位：ppm

範 囲	検体数	nd	0.01 ~ 0.05	0.06 ~ 0.10	0.11 ~ 0.15	0.16 ~ 0.20	0.21 ~
検出数	28	3	22	3	0	0	0

*nd：0.01未満

表-10 輸入食品中の放射能の検査結果

(単位: Bq/kg)

食 品 名 (輸出国) 提出年月日		セシウム134	セシウム137	セシウム134+137
輸 入 品	スパゲッティー (不 明) 1993. 6. 14	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	クロデル カマンベール (フランス) 1993. 7. 9	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	フィリップ・ベソ オリーブ オイル (イタリア) 1993. 7. 9	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	カルハ シェアリリン (フランス) 1993. 7. 9	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	C G C 生ハム ラックス ハム スライス (デンマーク) 1993. 7. 9	0.1未満	0.1	0.2
	ソフトな ハンパミ ナッツ 詰め ミルクチョコレート (ポーランド) 1993. 7. 9	0.1未満	0.2	0.2
	黄もも・シロップ 漬け (アメリカ) 1993. 11. 8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	ハルフルックホル トマト (イタリア) 1993. 11. 8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	ビュア-メ-ブル シロップ (カナダ) 1993. 11. 8	0.1未満	1.0	1.0
	マスタード (フランス) 1993. 11. 8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	Libby's コレ-フ (ブラジル) 1993. 11. 8	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	オランダ イタム 粉末チーズ (オランダ) 1994. 1. 27	0.1未満	0.1未満	0.1未満

備考: 放射能濃度は、試料提出年月日の生重量に換算してある。

表-11-1 市内流通食品中の放射能の検査結果

(単位: Bq/kg)

食 品 名 (生産地) 購入年月日			セシウム134	セシウム137	セシウム134+137
食 品	レンズ豆		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(不 明)	1993. 6. 11			
	バナナ		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(エクアドル)	1993. 6. 11			
	アメリカン チェリー		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(アメリカ)	1993. 6. 11			
	グレープフルーツ		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(アメリカ)	1993. 6. 11			
	ほっけの開き		0.1未満	0.3	0.3
	(日 本)	1993. 6. 11			
	日高昆布		0.1未満	0.2	0.2
	(日 本)	1993. 6. 11			
	ハスターソース		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(オーストラリア)	1993. 6. 11			
	はちみつ		0.1未満	0.1未満	0.1未満
品	(中 国)	1993. 6. 11			
	冷凍ほたて貝		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(日 本)	1993. 6. 11			
品	わかめ		0.1未満	0.1未満	0.1未満
	(韓 国)	1993. 6. 11			

備考: 放射能濃度は、試料購入年月日の生重量に換算してある。

表-11-2 市内流通食品中の放射能の検査結果

(単位: Bq/kg)

食 品 名 (生産地) 購入年月日		セシウム134	セシウム137	セシウム134+137
食 品	生しいたけ (中国) 1993.12.15	0.1未満	0.3	0.3
	乾燥しいたけ (日本) 1993.12.15	0.2	25.5	25.7
	新巻鮭 (日本) 1993.12.15	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	カシューナッツ (インド) 1993.12.15	0.1未満	0.7	0.8
	ジョホタージュース (米国) 1993.12.15	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	Crescendo Premium Milk Chocolate and Roasted Whole Almonds (フィリピン) 1993.12.15	0.8	13.6	14.4
	明治コナミルク F&P (日本) 1993.12.15	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	雪印ネオミルク (日本) 1993.12.15	0.1未満	0.3	0.3
	ニューLF 森永チルミル (日本) 1993.12.15	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	フローアップ ミルク レー 和光堂 (日本) 1993.12.15	0.1未満	0.2	0.2
	ピスタチオ (イラン) 1994.2.14	0.1未満	0.1未満	0.1未満
	乾燥しいたけ (日本) 1994.2.14	0.4	15.4	15.8

備考: 放射能濃度は、試料購入年月日の生重量に換算してある。

表-12 青果物等中の残留農薬検査結果

農 薬 名 検 体 数 検 体 名		ヒ素およびその化合物 *1		鉛およびその化合物 *2		有 機 塩 素 剤										E P N クロル・トリホス	
						総 B H C	総 D D T	エン ト リ ン	カ ブ タ ホ ル	キ ブ タ ン	ク ロ ル ・ ベ ン ジ レ ー ト	ジ エ ホ ル	デ イ ル ト リ ン	ア ル ト リ ン			
キャベツ	2	—	—	nd	nd	nd	nd	—	—	—	nd	nd	nd	—			
きゅうり	3	nd	nd	nd	nd	nd	—	nd	—	nd	nd	nd	nd	—			
トマト	3	nd	nd	nd	nd	nd	—	nd	—	—	nd	nd	nd	—			
こまつな	3	—	—	nd	nd	nd	—	—	—	—	nd	nd	—	nd			
ほうれんそう	3	nd	nd	nd	nd	nd	—	—	—	—	nd	nd	nd	nd			
ばれいしょ	3	nd	nd 0.01	nd	nd	nd	—	—	—	—	nd	nd	nd	—			
日本なし	5	nd 0.04	nd 0.02	nd	nd	nd	nd	—	nd	nd	nd	nd	nd	nd			
みかん (果肉)	1	—	—	nd	nd	—	—	—	—	—	nd	—	—	—			
みかん (外皮)	1	—	—	nd	nd	—	—	—	—	—	nd	—	—	—			
りんご	1	—	—	nd	nd	—	—	—	—	—	nd	—	—	—			
キウイフルーツ	3	—	—	nd	nd	nd	nd	—	nd	nd	nd	nd	nd	nd			

*1 : As₂O₃として、 *2 : Pbとして、 *3 : nd (0.01未満)

*nd (ヒ素・鉛・カバール・ベンジル) : 0.01未満、 *nd (その他の項目)

単 位 : p p m

有 機 リ ン 剤									カルハメート	有機スズ剤	殺菌剤	殺虫剤
クロルフェニヒンホス	ジクロルホス	ジメトエート	ダイアジノン	ハラチオン	フェニトロチオン	フェソチオン	フェソトエート	マフチオン	カルハリル	トリジクロロキサイトヘキシルスズ #3	クロロタロニル ヘノミル	臭素
nd	—	—	nd	nd	—	—	—	nd	nd	—	—	—
—	—	—	nd	nd	nd	—	—	nd	—	—	—	—
—	—	nd	nd	nd	nd	—	—	nd	—	—	—	—
—	—	—	—	nd	—	—	—	nd	—	—	—	—
—	nd	—	nd	nd	nd	—	—	nd	nd	—	—	—
nd	—	nd	nd	nd	—	nd	—	nd	nd	—	—	—
nd	nd	—	nd	nd	nd	—	nd	nd	nd	nd	—	—
—	—	—	nd	nd	nd	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	nd	nd	nd	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	nd	nd	nd	—	—	—	—	—	—	—
nd	nd	—	nd	nd	nd	—	nd	nd	—	—	—	—

: 0 . 0 0 1 未満

表-13 牛乳中の残留農薬検査結果

検査項目	β -BHC	DDT	DDD	DDE	アルドリン	デイルドリン
検査体数	4	4	4	4	4	4
範囲	nd	nd	nd	nd	nd	nd

* nd : 0.001 未満

表-14 健康食品中のPCBおよび各種有害元素の検査結果

検査項目	PCB	ヒ素	鉛	鉄	カルシウム
検体数	16	23	23	1	1
範囲	nd	nd ~ 8.75	nd ~ 0.21	1.94	104

* PCB : KC-400 として・ヒ素 : Asとして

*単位 : 鉄 : mg/100g・カルシウム : mg/g ・その他 : ppm

* nd : 0.01未満

表-15 健康食品中の残留農薬の検査結果

単位 : ppm

検査項目	BHC	DDT	エンドリン	デイルドリン	アルドリン	パラチオン	フェントロチオン	マラチオン
検査体数	14	14	16	16	12	6	1	1
範囲	nd	nd	nd	nd	nd	nd	nd	nd

* nd : 0.01未満

表-16 食肉中の残留農薬の検査結果

単位：ppm/脂肪中

検体名	検 数	DDT	デイルドリン	アルドリン	ヘプタクロス	ヘプタクロス エポキシサイド
輸入食肉	8	nd	nd	nd	nd	nd
国産食肉	9	nd	nd	nd	nd	nd

* nd : 0.05未満

Ⅲ 試 験 検 査

1. 月 別 検 査 件 数

月 別			4	5	6	7
区 分						
細菌検査	分同	腸 管 系 病 原 菌 (1)	2,725	2,746	3,590	2,810
	離定	そ の 他 の 細 菌 (2)	1	—	4	5
	血	清 検 査 (3)	—	—	—	—
	化学療法剤に対する耐性検査 (4)		1	—	—	—
ウィルケス・チア等検査	分離同定	イ ン フ ル エ ン ザ (5)	17	—	2	—
		そ の 他 の ウ イ ル ス (6)	8	—	11	30
		リ ケ ッ チ ア そ の 他 (7)	2	—	1	1
	血清検査	イ ン フ ル エ ン ザ (8)	—	—	—	—
		そ の 他 の ウ イ ル ス (9)	294	603	247	198
		リ ケ ッ チ ア そ の 他 (10)	—	—	—	—
病 原 微 生 物 の 動 物 試 験 (11)		—	—	—	—	
原虫・寄生虫等	原	虫 (12)	3	2	—	—
	寄	生 虫 (13)	—	1	—	53
	そ 族 ・ 節 足 動 物 (14)	126	124	119	116	
	真 菌 ・ そ の 他 (15)	—	—	—	—	
結核	培	養 (16)	—	—	—	—
	化学療法剤に対する耐性検査 (17)		—	—	—	—
性病	梅	毒 (18)	61	58	54	57
	り	ん 病 (19)	—	—	—	—
	そ	の 他 (20)	—	—	—	—
食中毒	病 原 微 生 物 検 査 (21)		93	1	8	—
	理 化 学 的 検 査 (22)		—	—	—	—
臨床検査	血 液	血 液 型 (23)	—	—	—	—
		血 液 一 般 検 査 (24)	96	113	126	96
		生 化 学 検 査 (25)	316	466	382	302
		先 天 性 代 謝 異 常 検 査 (26)	—	—	—	—
		そ の 他 (27)	—	—	—	—

(平成5年度)

8	9	10	11	12	1	2	3	計
2,278	2,863	2,687	2,777	2,817	2,512	2,539	2,698	33,042
1	—	—	1	3	8	4	10	37
—	109	19	—	—	—	—	—	128
—	—	—	—	—	—	—	—	1
—	—	—	—	—	77	182	301	579
33	40	21	50	45	6	8	13	265
4	4	6	6	—	—	—	1	25
—	—	—	—	—	5	—	—	5
270	556	275	1,150	354	437	255	84	4,723
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	1	—	—	—	—	1	—	8
9	—	—	—	—	—	—	—	63
131	128	167	107	151	85	86	82	1,422
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
57	61	68	88	97	97	54	61	813
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	36	4	2	1	3	1	3	182
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
116	86	51	56	101	—	76	88	1,005
350	254	1,420	158	536	78	222	286	4,770
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—

月 別			4	5	6	7
区 分						
臨 床 検 査	尿 (28)		—	—	—	—
	便 (29)		—	—	—	—
	病 理 組 織 学 的 検 査 (30)		—	—	—	—
	そ の 他 (31)		—	—	—	—
食 品 検 査	病 理 微 生 物 検 査 (32)		246	433	515	376
	理 化 学 的 検 査 (33)		180	136	132	191
	そ の 他 (34)		—	—	—	—
水 質 検 査	水道原水	細 菌 学 的 検 査 (35)	—	—	—	—
		理 化 学 的 検 査 (36)	—	—	—	—
		生 物 学 的 検 査 (37)	—	—	—	—
	飲 水道水	細 菌 学 的 検 査 (38)	74	138	188	62
		理 化 学 的 検 査 (39)	75	138	189	62
	料 井戸水	細 菌 学 的 検 査 (40)	12	10	12	26
		理 化 学 的 検 査 (41)	12	10	12	26
	水 その他	細 菌 学 的 検 査 (42)	—	—	—	—
		理 化 学 的 検 査 (43)	44	—	—	—
	利 用 水	細 菌 学 的 検 査 (44)	—	—	—	—
		理 化 学 的 検 査 (45)	—	—	—	—
		生 物 学 的 検 査 (46)	—	—	—	—
	下 水	細 菌 学 的 検 査 (47)	—	—	—	—
		理 化 学 的 検 査 (48)	3	3	3	3
		生 物 学 的 検 査 (49)	—	—	—	—
廃 棄 物 関 係 検 査	し 尿	細 菌 学 的 検 査 (50)	—	—	—	—
		理 化 学 的 検 査 (51)	—	—	—	—
		生 物 学 的 検 査 (52)	—	—	—	—
	そ の 他 (53)		—	—	—	5
公 害 関 係 検 査	大 気	SO ₂ ・NO・NO ₂ ・OX・CO (54)	—	—	—	—
		浮遊粒子状物質（粉じんを含む）(55)	—	—	—	—
		降 下 ば い じ ん (56)	—	—	—	—
		そ の 他 (57)	—	—	—	—

8	9	10	11	12	1	2	3	計
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
161	217	311	118	229	40	235	122	3,003
158	154	232	422	393	217	271	322	2,808
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
67	38	104	121	94	53	66	128	1,133
68	38	104	118	90	55	59	129	1,125
67	28	24	13	6	34	19	15	266
67	28	24	11	6	33	19	15	263
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	44
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	3	3	3	4	2	3	3	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	6	6

月 別			4	5	6	7
区 分						
公害関係検査	河川	理 化 学 的 検 査 (58)	22	20	12	23
		そ の 他 (59)	59	15	15	18
	騒 音 ・ 振 動 (60)		—	—	—	—
	そ の 他 (61)		16	4	4	—
一般環境	一 般 室 内 環 境 (62)		6	26	—	—
	浴 場 水 ・ プ ー ル 水 (63)		21	9	9	9
	そ の 他 (64)		—	—	—	—
放射能	雨 水 ・ 陸 水 (65)		—	—	—	—
	空 気 中 (66)		—	—	—	—
	食 品 (67)		3	3	6	8
	そ の 他 (68)		—	—	—	—
温 泉 (鉱 泉) 泉 質 検 査 (69)			—	—	—	—
家 庭 用 品 検 査 (70)			14	34	72	53
薬品	医 薬 品 (71)		—	—	—	—
	そ の 他 (72)		—	—	—	—
栄 養 (73)			—	—	—	—
そ の 他 (74)			—	4	7	6
計			4,530	5,097	5,720	4,536

8	9	10	11	12	1	2	3	計
19	22	20	71	34	19	24	17	303
15	—	15	18	15	15	18	15	218
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	24
6	—	6	—	—	—	48	48	140
9	9	9	9	9	9	9	9	120
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	3	—	5	8	3	4	3	55
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
44	36	25	19	20	24	25	26	392
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	12	29
3,973	4,714	5,595	5,323	5,013	3,812	4,228	4,497	57,038

2. 依頼別検査件数

	依頼によるもの					自 ら 行 う も の	計
	保 (検 査 室) 所	保の 健行 所政 以機 外関	医 療 機 関	学事 校 お業 よ び所	そ の 他		
細菌検査 (1)	496	2,570	618	28,875	649	—	33,208
ウイルス・リケッチア等検査 (2)	2,420	2,203	220	—	—	754	5,597
病原微生物の動物試験 (3)	—	—	—	—	—	—	—
原虫・寄生虫等 (4)	71	320	3	1	7	1,091	1,493
結核 (5)	—	—	—	—	—	—	—
性病 (6)	661	—	—	—	—	152	813
食中毒 (7)	182	—	—	—	—	—	182
臨床試験 (8)	—	3,637	228	—	—	1,910	5,775
食品検査 (9)	3,530	208	—	371	7	1,695	5,811
水質検査 (10)	560	398	—	1,475	366	68	2,867
廃棄物関係検査 (11)	—	1	—	4	—	—	5
公害関係検査 (12)	94	211	—	161	17	68	551
一般環境 (13)	152	—	—	108	—	—	260
放射能 (14)	—	16	—	—	—	39	55
温泉（鉱泉）泉質検査 (15)	—	—	—	—	—	—	—
家庭用品検査 (16)	6	268	—	—	—	118	392
薬品 (17)	—	—	—	—	—	—	—
栄養 (18)	—	—	—	—	—	—	—
その他 (19)	29	—	—	—	—	—	29
計 (20)	8,201	9,832	1,069	30,995	1,046	5,895	57,038

3. 項目別検査件数

	件数	依頼によるもの			自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療学 その他			
細菌検査	腸内系病原菌(01)					1. 赤痢菌 2. サルモネラ菌 3. 病原大腸菌 4. 腸炎ビブリオ菌 5. コレラ菌 6. カンピロバクター	33,020 1,350 649 731 1,087 648
	分離						
	同定						
	その他の細菌(02)	496	2,406	616	28,875	649	
	血清検査(03)	37	36	1		1. レンサ球菌 2. マイコプラズマ 3. 百日咳菌 4. その他	34 1 1 1
	化学療法剤に対する耐性検査(04)	128	128			1. 凝集反応	128
(01)～(04)の計		33,208	2,570	618	28,875	649	1

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他		
ウイルス・リケッチア検査								
分離同定								
インフルエンザ(05)	579	—	250	—	—	—	1. M D C K細胞培養法	579
その他のウイルス(06)							1. R - P H A 法	8
	265	—	265	—	—	—	2. E I A 法	21
							3. 細胞培養法	236
リケッチア・その他 (07)	25	—	25	—	—	—	1. マイクロトランク法	25
インフルエンザ(08)	5	—	5	—	—	—	1. H I	5
その他のウイルス(09)							1. H I	456
							2. H I V _A b	1,634
							3. H B s - A g	1,233
							4. H B s - A b	1,233
							5. H B e - A g	7
							6. H B e - A b	7
							7. H B C - A b	7
	4,723	2,420	1,658	220	—	—	8. H C V	146
リケッチア・その他 (10)	—	—	—	—	—	—		—
(05) ~ (10) の計	5,597	2,420	2,203	220	—	—		—

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事その他			
病原微生物の動物試験(11)	—	—	—	—	—	—		
(11) の計	—	—	—	—	—	—		
原虫(12)	8	3	2	3	—	—	1. アメーバ赤痢	8
寄生虫(13)	63	—	63	—	—	—	1. 蟻虫卵	63
そ族・節足動物(14)							1. 害虫同定 2. 殺虫効力試験	1,422 —
真菌・その他(15)	1,422	68	255	—	1	1,091		—
(12)～(15)の計	1,493	71	320	3	1	1,091		
培養(16)	—	—	—	—	—	—		—
化学療法剤に対する耐性検査(17)	—	—	—	—	—	—		—
(16)～(17)の計	—	—	—	—	—	—		
梅毒(18)							1. 現行三法 2. TPHA定性 3. TPHA定量 4. ガラス板法 5. 緒方法定量	742 65 6 — —
性病	813	661	—	—	—	152		
りん病(19)	—	—	—	—	—	—		
その他(20)	—	—	—	—	—	—		
(18)～(20)の計	813	661	—	—	—	152		

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他		
食中毒	病原微生物検査(21)						1. 赤痢菌 2. サルモネラ菌 3. 腸炎ビブリオ菌 4. 病原大腸菌 5. 病原ブドウ球菌 6. ウェルシュ菌 7. カンピロバクター 8. セレウス菌 9. NAGビブリオ 10. その他	179 179 181 179 179 179 179 179 179 894
	理化学的検査(22)	182	182	—	—	—	—	—
	(21)～(22)の計	182	182	—	—	—	—	—
	血液型(23)	—	—	—	—	—	—	—
	血液一般検査(24)						1. 赤血球 2. 白血球 3. 血液像 4. ヘマトクリット 5. 血色素量	209 209 173 205 209
	臨床検査	1,005	845	—	—	—	160	—

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他		
生化学検査(25)							1. モイレングラハト	170
							2. チモール反応	192
							3. 硫酸亜鉛反応	644
							4. 尿素窒素	192
							5. アルカリフォスファターゼ	192
							6. トランスアミナーゼGOT	748
							7. " GPT	734
							8. 血糖	192
							9. 総コレステロール	218
							10. 血漿血清蛋白量	192
							11. 蛋白分画	192
							12. 乳酸脱水素酵素	192
							13. 中性脂肪	218
							14. γGTP	296
							15. 血液ジアスターゼ	14
							16. Na	192
							17. K	192
	4,770	-	2,792	228	-	-		
先天性代謝異常検査 (26)	-	-	-	-	-	-		-
その他(27)	-	-	-	-	-	-		-
尿 (28)	-	-	-	-	-	-		-
便 (29)	-	-	-	-	-	-		-
病理組織学的検査(30)	-	-	-	-	-	-		-
その他(31)	-	-	-	-	-	-		-
(23) ~ (31) の計	5,775	-	3,637	228	-	-	1,910	-

臨 床 検 査

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事その他			
食品検査								
病理微生物検査(32)	3,003	2,647	24	-	326	-		12,054
理化学的検査(33)	2,808	883	184	-	45	1,695		4,816
その他(34)	-	-	-	-	-	-		-
(32) ~ (34) の計	5,811	3,530	208	-	371	1,695		-
水道水	-	-	-	-	-	-		-
細菌学的検査(35)	-	-	-	-	-	-		-
理化学的検査(36)	-	-	-	-	-	-		-
生物学的検査(37)	-	-	-	-	-	-		-
細菌学的検査(38)	1,133	258	192	-	668	15	1. 貯槽水	2,266
理化学的検査(39)	1,125	247	194	-	669	15	1. 貯槽水	15,181
細菌学的検査(40)	266	28	-	-	70	168	1. 井戸水	532
理化学的検査(41)	263	27	-	-	68	168	1. 井戸水	5,632
細菌学的検査(42)	-	-	-	-	-	-		-
理化学的検査(43)	44	-	-	-	-	44		616
細菌学的検査(44)	-	-	-	-	-	-		-
理化学的検査(45)	-	-	-	-	-	-		-
生物学的検査(46)	-	-	-	-	-	-		-
細菌学的検査(47)	-	-	-	-	-	-		-
理化学的検査(48)	36	-	12	-	-	24		252
生物学的検査(49)	-	-	-	-	-	-		-
(35) ~ (49) の計	2,867	560	398	-	1,475	366		-

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他		
廃棄物関係検査	細菌学的検査(50)	-	-	-	-	-	1. 浄化槽放流水	-
	理化学的検査(51)	-	-	-	-	-	1. 浄化槽放流水	-
	生物学的検査(52)	-	-	-	-	-		-
	その他(53)	-	1	-	4	-		70
	(50) ~ (53) の計	5	1	-	4	-		
公害関係検査	大気 SO ₂ ・NO・NO ₂ ・CO (54)						1. 炭化水素	-
							2. 一酸化炭素	-
							3. 炭酸ガス	-
							4. 気流	-
							5. 気温	-
							6. 気湿	-
							7. 粉じん	-
							8. 二酸化窒素	-
							9. 酸化窒素	-
	浮遊粒子物質(55) 粉じんを含む)	-	-	-	-	-		-
	降下ばいじん(56)	-	-	-	-	-		-

	件数	依頼によるもの					自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他			
公害関係検査	大気	その他(57)						1. 温度	6
								2. 水分	6
								3. 流速	6
								4. ばいじん量	6
								5. いおう酸化物	4
				3	—	—	—	6. 窒素酸化物	6
	河川	理化学的検査(58)	91	34	—	178	—	1. 河海水底質	408
			303	—	—	—	—	2. 産業排水	279
	騒音・振動(60)	その他(59)	—	174	—	—	—	1. 細菌学的検査	1,494
			218	—	—	—	44	2. 生物調査	44
一般環境	その他(61)	—	—	—	—	—		—	
		24	—	—	—	24		24	
	(54)～(61)の計		551	94	211	178	68		
	一般室内環境(62)						1. 気温	—	
							2. 気湿	—	
							3. 気動	—	
							4. じんあい	—	
							5. 炭酸ガス	—	
							6. 照度	—	
							7. 落下細菌	89	
8. 落下真菌							48		
140	—	—	—	—	9. その他の他	3			

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他		
一般環境	120	12	-	-	108	-	1. プール水	588
その他(64)	-	-	-	-	-	-	1. クーリングタワーほか	-
(62) ~ (64) の計	260	152	-	-	108	-		-
放射能	-	-	-	-	-	-		-
雨水・陸水(65)	-	-	-	-	-	-		-
空気中(66)	-	-	-	-	-	-		-
食品(67)	55	-	16	-	-	-	1. セシウム 134	51
その他(68)	-	-	-	-	-	-	2. セシウム 137	51
(65) ~ (68) の計	55	-	16	-	-	-		-
温泉(鉱泉)泉質検査(69)	-	-	-	-	-	-		-
(69) の計	-	-	-	-	-	-		-
家庭用品検査(70)	392	6	268	-	-	-	1. ホルムアルデヒド	168
							2. 有機水銀化合物	10
							3. トリフェニル錫化合物	10
							4. トリブチル錫化合物	10
							5. 酸・アルカリ定量	20
							6. 容器試験	20
							7. テトラクロロエチレン	24
							8. トリクロロエチレン	24
							9. T D B P	5

	件数	依頼によるもの				自ら行う	検査項目	総数
		保健所	行政	医療	学事	その他		
							10. B D B P P 11. メ タ ノ ー ル 12. デ イ ル ド リ ン 13. D T B 14. 落 下 細 菌 15. 落 下 真 菌 16. イ ソ プ ロ ピ ル ア ル コ ー ル 17. そ の 他	5 44 10 10 3 3 70 35
(70) の 計	392	6	268	—	—	—	118	
薬 品								
医 品								
薬 品 (71)	—	—	—	—	—	—		
他 (72)	—	—	—	—	—	—		
(71) ~ (72) の 計	—	—	—	—	—	—		
栄 養 (73)	—	—	—	—	—	—		
(73) の 計	—	—	—	—	—	—		
そ の 他 (74)	29	29	—	—	—	—	1. P H	29
(74) の 計	29	29	—	—	—	—		

食品別検査項目内訳 その1

		総 数		着 色 料	保 存 料	発 色 料	漂 白 剤	甘 味 料	品 質 保 持 剤	品 質 改 良 料	酸 化 防 止 剤	防 か び 剤	強 化 剤
		検 体 数	項 目 数										
魚 介 類		120	641	-	12	3	4	-	-	-	-	-	1
魚 介 類 加 工 品	塩 乾 物	13	36	6	2	2	4	-	-	-	18	-	-
	ね り 製 品	71	110	22	71	-	11	5	-	-	-	-	-
	そ の 他	16	52	3	36	-	-	9	-	-	2	-	-
鯨 肉 及 び そ の 加 工 品		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
食 肉 及 び そ の 加 工 品		94	536	1	23	20	6	-	-	-	6	-	12
卵 及 び そ の 加 工 品		2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
穀 類 及 び そ の 加 工 品		194	454	3	-	-	9	-	14	-	-	-	-
野菜類、果物類及びその加工品		328	1,025	16	30	-	11	3	-	-	30	28	6
豆 類 及 び そ の 加 工 品		20	70	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-
乳 そ 加 及 の 工 品	乳 類	30	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳 製 品	14	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
つ け も の		19	45	15	19	-	3	8	-	-	-	-	-
調 味 料		10	54	25	24	-	-	3	-	-	1	-	-
菓 子 類		88	132	38	63	-	2	-	-	-	7	-	-
氷 菓		10	19	9	10	-	-	-	-	-	-	-	-
清 涼 飲 料 水		12	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
酒 精 ・ 飲 料 水		5	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
油 脂 類		65	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 食 品		40	122	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
食 品 添 加 物		3	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
器 具 及 び 容 器 包 装		15	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
お も ち ゃ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他		1,406	1,620	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		2,575	5,440	143	299	25	55	28	14	-	64	28	19

殺菌料	酸味料	その他の添加物	水分活性	油脂分	腐敗検査	シアン化合物	マイコトキシン	魚貝毒	TTC	塩分濃度	酸価過酸化物価	抗菌剤	抗生物質	規格試験	PCB	残留農薬	重金属	その他
4	-	-	-	-	-	-	-	10	39	37	4	23	40	-	15	204	120	125
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	178	169	25	-	95	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	2	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	345	28	11
-	5	2	-	-	-	-	5	-	-	-	52	-	-	-	-	830	6	1
-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	16	-	-	-	-	40	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	104	-	24	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	100	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	2
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	16	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	1	-	-	3	1	-	-	-	24	1	-	-	-	15	-	72
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	28	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	298	57	1,250
21	15	2	1	-	-	4	40	10	39	37	242	202	236	183	64	1,951	255	1,463

食品別検査項目内訳 その2

			総 検 体 数	数 項 目 数	細 菌 数	大 腸 菌 群	ぶ ど う 球 菌	サル モ ネ ラ 菌	腸 炎 ビ ブ リ オ
魚介類及び その加工品	鮮魚介類	鮮魚	—	—	—	—	—	—	—
		生かき	45	102	45	—	—	—	6
		貝類	64	303	64	64	51	30	64
		その他	193	974	193	193	140	48	193
	魚肉・ハム・ソーセージ		—	—	—	—	—	—	—
	魚肉ねり製品		71	165	70	70	7	6	1
	魚介乾製品		1	14	—	—	1	1	1
鯨肉及びその 加工品	その他		6	24	—	—	1	1	6
	鯨肉		3	20	2	2	1	3	1
	鯨肉製品		—	—	—	—	—	—	—
食肉及びその 加工品	食肉		55	226	55	55	5	55	—
	食肉製品		19	72	19	19	11	11	—
卵及びその 加工品	卵		—	—	—	—	—	—	—
	卵加工品		1	3	1	1	—	1	—
乳及びその 加工品	乳製・品	乳	30	64	30	30	—	—	—
		乳製品	33	75	23	29	7	—	—
		その他	21	94	21	21	18	—	—
穀類・豆類及び その加工品	めん類		27	115	27	27	25	8	—
	豆腐		60	254	60	60	51	—	—
	納豆		7	10	1	1	1	—	—
	その他		11	40	9	9	9	—	—
野菜果実類及び その加工品	漬物		11	35	11	11	8	—	—
	その他		29	61	28	28	4	—	—
冷凍食品	冷凍食品		8	25	8	2	5	2	—
弁当・そう菜	弁当		197	991	195	195	197	95	107
	調理パン		59	280	59	59	59	59	—
	そう菜		764	3,971	714	714	749	689	83
調味料	みそ・しょうゆ等		—	—	—	—	—	—	—
菓子類	菓子類		214	953	198	210	201	165	5
油脂類	マーガリン等		—	—	—	—	—	—	—
飲料類	清涼飲料水		12	38	12	12	—	—	—
	粉末清涼飲料		—	—	—	—	—	—	—
	酒精飲料		1	3	1	1	1	—	—
その他の食品	氷菓		5	10	5	5	—	—	—
	氷雪		—	—	—	—	—	—	—
	レトルト		—	—	—	—	—	—	—
	その他		41	178	35	29	31	2	2
ふきとり	器具ふきとり		612	2,954	583	583	540	248	175
	手指ふきとり		384	1,865	367	367	363	205	26
	ふきん・おしぼり		26	100	26	26	26	—	—
	その他		4	4	4	—	—	—	—
合 計			3,014	14,023	2,866	2,823	2,512	1,629	670

乳 酸 菌	真 菌	E・C O・I・I	耐 熱 性 菌 総 数	細 菌 試 験	病 原 大 腸 菌	ウ ェ ル シ ュ 菌	赤 痢 菌	カン ピ ロ バ ク タ ー	N A G ビ ブ リ オ	セ レ ウ ス 菌	コ レ ラ 菌	そ の 他
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	45	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—
—	—	21	—	—	—	—	—	—	7	—	—	2
—	—	83	—	—	—	—	—	—	88	1	—	35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	—	5
—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	—	5
—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	2	8
—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	—	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	5	—	—	8	—	—	25	—	—	—	18
—	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
—	—	16	—	—	—	—	—	—	—	18	—	—
—	—	—	—	—	—	14	—	—	—	14	—	—
—	—	19	—	—	—	10	—	—	—	45	9	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—
—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	2
—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	32	—	—	2	38	2	2	70	26	—	30
—	—	12	—	—	—	7	—	11	—	14	—	—
—	1	59	—	—	58	197	49	88	58	222	—	290
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	8	35	—	—	5	10	5	5	5	56	—	45
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	24	4	24	—	6	2	2	2	2	2	—	10
—	123	106	—	—	57	120	58	49	62	105	—	145
—	5	78	—	—	17	152	17	36	17	130	—	85
—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	178	533	25	—	157	554	137	222	313	662	20	715

水質別検査項目内訳

				件 数	外 観・ 濁度・ 色素・ 臭味	P H	窒 素 化 合 物	過 マン ガン 酸	カリ ウム 消 費 量	硬 度	陽 イ オン 類	陰 イ オン 類
飲料 水 検 査	水道 水	浄	貯 (細) 水	1,134	-	-	-	-	-	-	-	-
			そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水	貯 (理) 水	1,125	4,480	1,121	2,240	1,120	1,120	2,702	1,134	
			そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	
	井戸 水	井	(細) 水	266	-	-	-	-	-	-	-	
			そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	
		井	(理) 水	263	1,052	263	761	263	263	370	265	
			そ の 他	44	88	44	88	44	44	176	44	
下水 関 係 検 査	(細)			-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他			-	-	-	-	-	-	-	-	
	(理)			36	-	24	-	-	-	132	12	
	そ の 他			-	-	-	-	-	-	-	-	
	生 物 学 的 検 査			-	-	-	-	-	-	-	-	
清掃 関 係 検 査	し 尿	浄 化 (細) 放 流 水		-	-	-	-	-	-	-	-	
		浄 化 槽 水		-	-	-	-	-	-	-	-	
		浄 化 (理) 放 流 水		-	-	-	-	-	-	-	-	
		浄 化 槽 水		-	-	-	-	-	-	-	-	
		生 物 学 的 検 査		-	-	-	-	-	-	-	-	
	そ の 他			5	5	5	-	-	-	25	5	
公害・一般環境検査	河川汚濁	河 川 水 底 質		24	-	10	9	-	-	-	175	76
		産 業 排 水		279	-	-	-	-	-	-	-	-
		そ の 他		218	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他			24	-	-	-	-	-	-	-	-
	浴 場 水			12	-	-	-	-	-	-	-	-
	プ ー ル 水			108	108	108	-	108	-	-	-	-
	そ の 他			-	-	-	-	-	-	-	-	-
温 泉 (鉱 泉)				-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他				-	-	-	-	-	-	-	-	
計				3,538	5,733	1,575	3,098	1,535	1,427	3,580	1,536	

蒸発残留物	残留塩素	溶存酸素	C O D	B O D	浮遊物質	陰イオン活性剤	n・ヘキサ ン 可溶性物質	その他の 理化学試験	一般細菌数	大腸菌群	その他の 細菌学的試験	総 数
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,134	1,134	-	2,268
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	1,120	-	-	-	-	7	-	104	-	-	-	15,181
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	266	266	-	532
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	263	-	-	-	-	1	-	2,126	-	-	-	5,632
44	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	616
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	84	-	-	-	252
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	70
-	-	9	10	12	10	-	1	96	-	-	-	408
-	-	-	-	-	-	-	12	267	-	-	-	279
-	-	-	-	-	-	-	-	44	180	189	1,260	1,673
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	24
-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	48
-	108	-	-	-	-	-	-	-	-	108	-	540
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
82	1,535	9	10	12	10	8	13	2,799	1,580	1,697	1,284	27,523